

上野金太郎 三四 養木速  
 上野綱治 四一 窯  
 上野壽 三九 織  
 上倉次郎 かノ部ニアリ  
 上松銚太郎 二二 染  
 上島慶篤 かノ部ニアリ  
 植田久逸 二二 機  
 植田助次郎 二三 機  
 植月俊雄 三六 電機  
 植月億萬 三八 機  
 内林嘉四郎 二六 機  
 内田仁惣太 三〇 機  
 内田乙喜 二九 機  
 内田陽太郎 三九 電機  
 内田保爾 三五 機  
 内田鈞一 三九 機  
 内海靜 二八 機特  
 内村達次郎 二三 機  
 内山治助 四〇 應  
 内山音次郎 三六 機  
 内山彌市 二九 養金速  
 内山浩一 四〇 應  
 内山久太郎 二三 機  
 内坂素夫 二五 電機  
 打越光保 四一 機  
 漆戸起一 二八 機  
 漆谷虎之助 三九 養應  
 漆澤忠雄 三六 電機  
 宇加井廉造 三九 織  
 宇都野朝二郎 二四 機  
 宇野豊文 四一 機  
 宇野三郎 四〇 養應

宇野範一 三九 織  
 宇佐美信 二四 應  
 浦謹爾 二六 機  
 浦演惣太郎 三二 電化  
 羽野常次 はノ部ニアリ  
 鶴野直 四〇 機  
 梅鉢長三郎 三五 養金速  
 梅川徳次郎 二五 染選  
 梅田音五郎 二六 窯  
 梅村右馬太郎 三六 機  
 梅村久磨作 二〇 機  
 梅野猶太郎 三六 電機  
 梅澤治平 四一 染選  
 梅澤力 三九 電機  
 梅宮清松 三九 機  
 潮唯祐 三八 機  
 潮田景次 三二 電化  
 潮崎源次 三四 機  
 海野幸徳 四〇 機  
 海野幸孝 二九 機  
 薄木厚一 四一 電機

のノ部

野呂長四郎 四一 養建  
 野田市三郎 四〇 養應  
 野田忠藏 二八 染  
 野田直次郎 三二 養染速  
 野田繁 三三 機  
 野村真一 二四 機  
 野村孝次郎 三九 養建  
 野村宅藏 四一 機  
 野村丑松 三七 機

野村健 三三 應  
 野村亭作 二七 機  
 野村清一 四〇 電機  
 野内成一 四一 應  
 野口大吉 二八 養金速  
 野口義比 二五 應  
 野口善平 三三 機  
 野牛道弘 ヤノ部ニアリ  
 野間光彦 一九 應  
 野俣寛治 二四 窯  
 野澤房次郎 三九 應  
 野澤久吉 三一 養織速  
 野崎傳次郎 二七 機  
 野白金一 三四 應  
 野尻長十郎 三九 織  
 野島信貫 二六 染  
 野元義雄 四一 圖  
 登坂仁太郎 二八 染選  
 登坂秀興 二七 染  
 登坂秀輔 三七 染選  
 則武義夫 三二 機  
 能勢敬三 三九 窯選

くノ部

黒部義夫 三七 機  
 黒川主 三二 電機  
 黒田隆平 二〇 機  
 黒田小環次 三一 機  
 黒田峰松 二四 機  
 黒田靖太郎 三八 染  
 黒田精太郎 二三 應選  
 黒田正策 三三 養窯

黒田政憲 二四 窯  
 黒柳仁三郎 三九 養應  
 黒澤得之 三八 養應  
 黒澤喜長治 三八 養木速  
 國吉信義 二四 機  
 國井喜太郎 四〇 圖選  
 國井英二 三八 窯  
 國松市郎 三九 應  
 國藤康太 二二 機  
 國枝太策 四〇 應  
 久保正吉 三六 機  
 久保本治 四一 機  
 久保田富三 三八 應  
 久保田順一 二八 機  
 久保田新吉 三〇 養金速  
 久保田鎮之 三四 織  
 久野五十志 三七 電機  
 久野弘濟 三三 電化  
 久能金一 三一 應  
 久能省三 二〇 染  
 久米恒一郎 二七 機  
 久米壯吉 三九 應  
 久米實 三三 應  
 久米彪耶 二九 機  
 久住久 三四 窯  
 久末武次郎 二二 染  
 窪田小七郎 三九 機  
 工藤要太郎 四〇 機  
 栗原一策 三九 養機  
 栗原深造 三三 染  
 栗原植 四〇 圖  
 栗原重男 四一 電機

栗田金太郎 二六 機  
 栗城信吾 三〇 養陶速  
 車健太郎 四〇 圖選  
 來田親之助 きノ部ニアリ  
 來住輝雄 三一 機  
 桑原樸 三五 機  
 桑原貫一 三四 養木  
 桑原謙次郎 三一 機  
 桑田千三郎 三九 養建  
 倉賀野政三 三二 機  
 倉上清次郎 四〇 織選  
 倉品保 四〇 電機  
 熊井泰助 三一 機  
 熊澤一三 四一 染  
 熊澤治郎吉 三〇 養窯  
 熊澤竹藏 三九 養機  
 隈崎佐太郎 二九 機  
 日下部康一 三六 織  
 楠田孝吉 三四 機  
 楠田芳男 三四 機  
 楠井貫一 三五 電化  
 楠木正明 三四 機  
 湖壽樞 四〇 織選

やノ部

矢作銀太郎 三三 機  
 矢部通男 四一 機  
 矢田勇 三九 電機  
 矢野廉 四〇 圖  
 矢野丑乙 二八 機  
 矢口玉五郎 二九 養金  
 矢島房脩 三九 機  
 八島徹耶 三七 養金速

彌富源吉 三四 養木速  
 野牛道弘 四〇 機  
 屋代清藏 三八 機  
 大和芳二 三八 機  
 大和哲三 三九 機  
 山路述 三八 機  
 山岡順六 二四 應  
 山岡盛 三九 圖選  
 山縣友雄 三八 電機選  
 山縣信義 三八 機  
 山川純一 四〇 電機  
 山田時太 二八 機  
 山田和三郎 三三 電機選  
 山田鎮一郎 一九 機  
 山田勘七 三九 機  
 山田鑑雄 二七 機  
 山田恒夫 二〇 應  
 山田信介 一九 機  
 山田松太郎 三八 機  
 山田健 四〇 機  
 山田謙三郎 三〇 機  
 山田文慈 三四 機  
 山田權三郎 三八 應  
 山田輝吉 四〇 應  
 山田三郎 二八 染  
 山田三郎 三三 機  
 山田三次郎 三〇 窯  
 山田吉十郎 一九 機  
 山田滋朗 四〇 應  
 山田重雄 三三 機  
 山根修 三一 養染  
 山根輝宜 三九 應

山中麟造 三七 機  
 山中好司 三八 機  
 山中又三郎 三四 養染  
 山内幾馬 三九 機  
 山内英太郎 二二 染  
 山内榮 三二 機  
 山内喜志男 三六 電機  
 山内重馬 二三 機  
 山口八次 三六 機  
 山口長之進 三六 織  
 山口儀一 三三 機  
 山口武彦 二四 機  
 山口鶴一 四一 應  
 山口丑藏 四〇 養建  
 山口貴雄 一九 染  
 山越八郎 三一 染  
 山崎泰一 四一 應  
 山崎篤太郎 四〇 圖  
 山崎正市 三九 電化  
 山崎譚 二〇 機  
 山崎久太郎 二〇 機  
 山崎慎二 四〇 機  
 山野邊義男 三八 染  
 山之城寛平 三九 機  
 山城亥吾 三六 電機  
 山下夏彦 四一 機  
 山下倉太郎 二九 機  
 山下祥輔 三三 窯  
 山下茂太郎 三一 機  
 山本岩太 三八 養建  
 山本豐藏 二五 機  
 山本徹 四〇 電機

山本唯一 三八 機  
 山本武治 三八 應  
 山本梅之助 四〇 機  
 山本熊太郎 三七 應  
 山本又六 三九 養染  
 山本敬三 四一 應  
 山本元明 二一 染速  
 山本光男 三四 機  
 山本周次郎 三六 應  
 山本盛武 三六 應  
 山本祐七 二四 染選  
 柳川常治 三七 染  
 柳田英兒 三四 電機  
 柳澤典次 二七 應  
 梁瀨眞壽 二九 窯  
 安岡隆司 三三 機  
 安田祿造 三五 養圖  
 安田作 三七 機  
 安田乙吉 三一 養窯  
 安田恒 二一 機  
 安田昌 三三 機  
 安田彦治 三五 染  
 安武龜太郎 二六 窯  
 安永一雄 三三 養木  
 安永悟 三四 機  
 安永省三 三一 染  
 安井清治 四〇 染  
 安松榮 二一 染  
 安雲宗一 四一 圖選  
 安本明次郎 三九 機

まノ部

眞壁豊 四一 電化  
 眞多令兒 三八 養機  
 眞野太郎 二二 窯  
 眞柳重俊 二五 機  
 眞木銚吉 二八 染  
 間宮豊造 三七 應  
 前原悠一 三〇 染  
 前原準一 三五 織  
 前川忠七 二二 機  
 前川源次郎 二二 機  
 前田熊吉 四一 織選  
 前田泰次郎 二五 機  
 前田彌太郎 三九 織  
 前田雄次郎 二七 機  
 前田實 三八 應  
 前田秀丸 三五 電化  
 町田平 三二 機  
 町田欽治 三九 電機  
 町野守衛 三四 機  
 丸橋富太郎 三七 養金速  
 丸田正家 三三 窯  
 丸野末二 三七 養木速  
 丸山種一 四〇 機  
 丸山孫次 三八 機選  
 丸山彦門 三一 電機  
 斑目定治 三九 電化  
 松原常吉 三七 養機  
 松原益次郎 二五 機  
 松原圭次郎 三六 機  
 松尾其助 三五 養木

松尾照一 三七 機  
 松尾哲藏 三二 染  
 松岡音吉 三一 機  
 松岡辰三 三八 電化  
 松岡房吉 三九 機  
 松岡重次郎 四〇 電機  
 松田利勝 三一 機  
 松田和 三三 機  
 松田義一 四一 機  
 松田達生 三六 電機  
 松田萬太郎 二四 機  
 松田健彦 三〇 應  
 松田針之助 三〇 染  
 松平翠 四一 機  
 松永太郎 三〇 應  
 松永永之助 三二 電機  
 松永壽 四〇 機  
 松波菊太郎 四一 窯  
 松村八次郎 二四 窯  
 松村安太郎 三六 應選  
 松浦春吉 四〇 機  
 松浦松二郎 四〇 養機  
 松浦孫太 三四 電化  
 松井庸二郎 四一 應  
 松井宇平 三六 應  
 松井吉造 二一 應速  
 松隈知一 三五 機  
 松政幾太郎 二六 機特  
 松淵頼俊 四一 機  
 松江春次 三二 應  
 松澤善雄 三八 染  
 松澤喜和太 二九 養金

松坂啓三 四〇 織  
 松崎兼一 二九 養陶速  
 松本禹象 二九 養木  
 松本健造 三九 電化  
 松本文彬 三八 電機  
 松本貞太郎 二二 機  
 松本雄吾 二八 染  
 松本慎一 二四 機  
 松本森治 三九 染  
 松下喜藏 三八 養織  
 松下新作 三三 養木  
 正木繁治 三三 機  
 横山信一 四〇 染  
 蒔田藏太 三五 染  
 牧幸年 四〇 機  
 牧原發雄 三七 機  
 牧原直 三六 機  
 牧田虎次郎 二八 染  
 牧田正躬 四一 織選  
 牧野磯雄 二三 機  
 牧野成保 四一 應  
 牧野啓吾 二九 養木  
 牧野賢吉 三三 電機  
 牧山正徳 三四 應  
 牧澤爲次郎 四〇 應選  
 枅田喜一 四一 機選  
 増田全吾 三三 電機  
 増井勝治 三四 染  
 増野清香 三八 機  
 増山錦吉 二五 機  
 益田與三 三五 機  
 益田熊太郎 二五 機

益子勇雄 二九 機

けノ部

計見正治 四〇 機  
 京極晴雄 三七 圖  
 見目徳太 四一 電機  
 殿智怡 三九 應選  
 玄 桐 三二 應特  
 犬童安一 二七 機

ふノ部

武久寅次郎 たノ部ニアリ  
 富士賢平 三八 機  
 麓 肅 三九 電化  
 布施若差 三九 應  
 淵江寛 三四 養圖  
 古市榮三郎 三七 機  
 古川良八 三九 養機  
 古屋季三 三五 應  
 古澤政造 四一 機  
 古木三治 三八 養金速  
 深堀信愛 三八 機  
 深尾謙造 四一 窯  
 深川保淑 三六 機  
 深田藤三郎 三五 圖  
 深井湜一 三九 機  
 深澤宮次郎 三三 養圖  
 深澤誠一 四〇 機  
 深見久七 三七 養建  
 深水保治 四〇 機  
 深瀬治 三八 機  
 二見鋼太郎 二三 機

船田金太郎 二六 機  
 船坂八郎 二五 染  
 船水武五郎 二七 機  
 福光二郎 三六 機  
 福家宗太郎 三一 養金  
 福富正家 三一 窯  
 福地秀雄 三六 窯  
 福岡丈太郎 四〇 機  
 福田徳太郎 三六 機  
 福田熊次郎 四〇 染  
 福田光義 二九 機  
 福田稔 四〇 電機  
 福野清太郎 三八 養機  
 福島信之助 三二 機  
 福島松男 三八 應  
 更田信四郎 三〇 機  
 更田信彌 二七 染  
 藤原林平 二八 機  
 藤原寅太郎 三三 窯  
 藤岡夏一 三七 機選  
 藤岡幸二 三八 窯  
 藤川勝丸 二六 機  
 藤田敏信 三五 機  
 藤田恒次郎 二七 染  
 藤田萬三 三七 養機  
 藤村義雄 二三 機  
 藤村信也 三三 電機  
 藤井龍藏 二四 機  
 藤井又四郎 三二 機  
 藤井慶介 三七 機  
 藤野珣三郎 二八 機  
 藤山楨人 二六 機

藤卷清次郎 四一 圖選  
 藤江永孝 二二 窯  
 藤木保道 三九 窯  
 藤本好雄 三五 養木  
 藤本顯苗 三九 機  
 フェアリコ 三九 機選  
 パレラ 三九 機選  
 フアン・エム・ラモス 四一 機選

こノ部

小坂橋和三郎 二八 養染速  
 小泉角五郎 二二 窯  
 小泉榮次郎 二二 染  
 小泉爲三郎 三四 應  
 小泉吉平 三六 養木速  
 小泉四郎 三五 養金速  
 小泉茂作 四一 養染  
 小池藤太郎 二五 機  
 小池熊吉 二四 機  
 小池鶴彦 二六 機  
 小池清澄 三八 養機  
 小出鋼藏 二六 機  
 小出錠雄 二八 機  
 小原得治 をノ部ニアリ  
 小原忠太郎 三四 養應  
 小林市郎 四〇 織  
 小林一太郎 一九 染  
 小林壽秀 三〇 機  
 小林豊造 三二 養金  
 小林治郎兵衛 三八 電機  
 小林利吉 三九 機  
 小林寛二 四一 電化  
 小林要次郎 二一 機速

小林 懋 二〇 機  
 小林恒藏 三五 電機  
 小林來三 三七 應  
 小林克喜 三七 織  
 小林幸一 三九 養建  
 小林貞一 二九 機  
 小林欽一 三四 織  
 小林三郎 四〇 養金速  
 小林儀策 三七 機選  
 小林銀三 二〇 染  
 小林光太郎 三七 機  
 小林四郎 三三 機  
 小林信吾 三二 應  
 小林誠真 三五 染選  
 小林正藏 三七 應  
 小林誠照痛 三六 機  
 小仲千代吉 三八 機  
 小室信藏 三三 養圖  
 小倉正 三四 染  
 小柳新吉 三八 織  
 小山幹也 をノ部ニアリ  
 小山鶴治 三三 染  
 小山恒藏 三六 圖  
 小山恭太郎 をノ部ニアリ  
 小山十一郎 をノ部ニアリ  
 小笠誠之助 をノ部ニアリ  
 小松豊作 三九 機  
 小松徳太郎 三五 機  
 小松幸太郎 二二 機  
 小松南海樹 三九 機  
 小巻潔 三八 機  
 小寺福三 三七 機

小峰芳次郎 三〇 機  
 小嶺幸之 二六 機特  
 小柴金侍 四一 圖選  
 小島梶郎 三八 織  
 小島代三 二九 機  
 小島丹治 三七 機選  
 小島常太郎 三一 染  
 小島成治 三二 應  
 小島彌一 三五 機  
 小島福次郎 三八 機  
 小島喜三郎 四一 機  
 小嶺山 隆 三九 織  
 小杉善吉 二二 機  
 小菅久徳 一九 染  
 木場佐吉 三四 機  
 木幡啓藏 四〇 織  
 木暮謙三郎 三九 養織  
 木槍怒一 四一 養建  
 後藤嘉宇太郎 三一 養應  
 後藤泰次 三四 應  
 後藤政雄 三三 機  
 後藤寛 三七 機  
 後藤秋太郎 三七 養應  
 五島喜久郎 三八 電化  
 古藤田綱吉 三八 織  
 古賀政助 三九 機  
 古賀榮之助 三四 機  
 古賀吉太郎 二三 機  
 兒玉親徳 四一 染  
 兒玉真太郎 三六 機  
 兒玉實 三六 機  
 兒島周一 二九 養木速

洪 鎔 三七 機選  
 洪 仁 杓 三二 應特  
 康永 祐 三二 染特  
 高堂順治 三九 應  
 甲田二郎 三六 養金速  
 合田梅太郎 三九 機  
 駒井四郎 三四 機  
 越川銚太郎 をノ部ニアリ  
 今 景彦 二八 機特  
 近藤一 郎 三五 機  
 近藤一 男 三八 應  
 近藤寅之輔 二二 染  
 近藤只三 三九 染  
 近藤榮助 三五 養金  
 近藤健資 三九 織  
 近藤淳直 三九 機  
 近藤 楓 三九 圖  
 權藤 蕭平 三三 機  
 權田 龜壽 三二 應

えノ部

衛藤寅藏 三四 機  
 江藤三生 三二 機  
 江藤清角 三四 電機  
 江川馬吉 三九 電機  
 江柄三七 三一 機  
 江頭春樹 三五 應  
 江頭金一郎 三三 染  
 江田謙次郎 三四 養應  
 江野澤 龜吉 三二 養木速  
 江澤 龜太郎 四〇 電機  
 江口直次郎 三三 電機

江口五郎 三九 機  
 江副爲市 三〇 機  
 江間午三郎 二八 機  
 江本泰二 二八 機  
 惠谷一 郎 三五 機  
 衣非安之助 三二 機  
 衣斐松雄 一九 機  
 海老定徳 二七 機  
 海老名龍四 二三 窯  
 越川銚太郎 三一 養金  
 榎下金松 三八 機  
 榎本惣太郎 二八 養木速  
 榎本安節 三八 養圖  
 遠藤隆太 二九 機  
 遠藤克己 三六 圖選  
 遠藤權三郎 三八 染  
 遠藤政直 三七 機  
 遠藤榮次郎 二四 機  
 遠藤 淳 三五 應  
 エム・ホーセン 四一 機選  
 エス・ピー・グアター 四一 機選

てノ部

寺西直 二七 機  
 寺門徳太郎 四一 應  
 寺内篤三郎 三〇 機  
 寺崎九一 郎 三八 養機  
 寺本直亮 二五 機  
 出口時之助 二八 養機速  
 出口直吉 二五 染  
 手塚千代吉 三五 養漆速  
 手島楠猪 三九 窯

手島 淳 藏 三九 織  
田頭 均 三〇 機

あ / 部

愛甲 隆 俊 二八 機  
安倍 榮四郎 三一 機  
安部田 貞 延 三七 機  
安達 若 松 三四 養金  
安達 龜 吉 四一 應  
安達 十 七 三九 機  
安孫子 真 雄 三七 織  
安東 健 一 四一 織  
安藤 忠四郎 三一 養織速  
安藤 成 一 三〇 機  
安藤 毅 作 三五 圖  
安藤 厚 四一 機  
安藤 厚三郎 二八 機  
安藤 末瑛夫 三七 機  
安藤 仙之助 二二 機  
安 衛 中 三二 染特  
阿部 外龜雄 三五 機  
阿部 圭 一 二八 機  
阿部 鐵 藏 三四 機  
阿部 謹 爾 三九 窯  
阿部 壽 三四 機  
阿部 修一 四〇 電化  
阿久津 節 三 三二 應  
相 塲 勉 一 三二 染  
相 川 規 一 二一 染  
相 田 藏 六 三一 養織速  
相 浦 真 一 二三 機  
相 澤 彌 吉 二一 機

合 田 梅太郎 二ノ部ニアリ  
有 岡 甲三郎 二一 機速  
有 賀 重 次 三六 機  
有 馬 廣 泰 二四 染  
有 福 和 一 三六 機  
粟 生 貞 一 三四 機  
粟 野 德 一 三七 電化  
粟 屋 富 壽 三二 機  
青 柳 吾 作 三二 養染  
青 柳 佐彌 三五 圖選  
青 山 治三郎 二八 養金速  
青 江 鑣 太 三五 機  
青 木 一 三四 電化  
青 木 武 四 四一 染  
青 木 保 三八 電機  
青 木 達 三 三五 機  
青 木 小一郎 三二 養染  
青 木 英 吉 四〇 應  
青 木 儀 助 三一 養漆速  
青 木 俊 造 三一 染  
赤 岩 治 平 三六 織選  
赤 塚 清 三九 電機  
赤 松 元太郎 三七 織  
赤 木 周 一 三八 應  
赤 司 荒 一 二九 機  
青 部 愛 一 三七 機  
荒 川 清三郎 三八 養金速  
荒 川 重 家 三六 養木速  
荒 井 谷 吉 三六 染  
荒 谷 次 郎 三四 養木  
新 井 荒 三 二四 機  
新 井 要之助 二三 應

新 井 美 重 四〇 圖  
新 井 宗 治 二四 染  
新 井 鏡太郎 二六 染  
新 井 英次郎 三二 養建  
新 井 教太郎 二九 養應  
新 谷 次 郎 三四 養建  
足 立 泰 治 二七 機特  
足 立 禎 次 四一 機  
足 立 燕之亮 四〇 染  
足 立 節之助 三六 應  
綾 部 繁 三八 窯  
甘 利 祐 作 三二 養應  
甘 田 瓦 三 三六 機  
天 野 惣次郎 三二 機  
天 野 維 熊 三二 機  
秋 保 安 治 二九 養木  
秋 保 真 三二 電機  
秋 田 小三郎 四一 電機  
秋 田 悦 太 三六 應  
秋 月 源太郎 三八 養機  
秋 山 岩 吉 三一 養木  
秋 山 利 正 四〇 織  
秋 山 信太郎 三四 養木  
秋 山 信 護 三六 應  
秋 山 廣 太 二〇 染  
秋 元 隆 雄 四一 養陶  
秋 元 整 三七 電機  
朝 原 梅太郎 三三 機  
朝 倉 元 次 四〇 電機  
淺 沼 直太郎 三六 機  
淺 尾 文 造 三七 電機  
淺 川 權 八 三〇 機

淺 村 三 郎 一九 機  
淺 野 峰次郎 三五 應  
淺 倉 丈 夫 四一 電機  
東 清 とノ部ニアリ  
葦 原 秀 國 三九 圖  
蘆 川 瓦 平 三一 機  
飛鳥 井孝太郎 二三 窯

さ / 部

税 田 谷五郎 三六 應  
崔 奎 翼 三二 染特  
西 郷 稀 士 四〇 機  
財 津 令 藏 三三 機  
齋 藤 虎 雄 二四 應  
齋 藤 董 福 四一 電化  
齋 藤 長 二 三五 機  
齋 藤 勝 藏 四一 機  
齋 藤 吉 廣 三二 養染  
齋 藤 孝 二五 機  
齋 藤 確 四〇 電機  
齋 藤 恒 吉 三七 養機  
齋 藤 常次郎 三三 機  
齋 藤 甲萬三 三〇 染  
齋 藤 貞 治 三七 織選  
齋 藤 勇 吉 二八 養金速  
齋 藤 純 三八 機  
齋 藤 俊 吉 二七 染  
齋 藤 久 孝 三三 養建  
齋 藤 仙 三 四〇 電機  
齋 間 貞之丞 二二 機  
齋 木 虎 吉 二九 機  
貴 家 璋 造 四〇 圖

三 枝 重 雄 四一 電機  
三 枝 基太郎 三六 機  
三 戶 増 三 四〇 機  
三 條 榮三郎 三一 養木速  
里 内 常太郎 二七 機  
佐 藤 六 郎 三九 機  
佐 藤 德 次 二九 養木速  
佐 藤 利三郎 三五 養金  
佐 藤 馨 三〇 機  
佐 藤 爲太郎 三一 機  
佐 藤 義 正 三六 機  
佐 藤 義 制 三二 機  
佐 藤 信 雄 三二 機  
佐 藤 信 壽 二五 機  
佐 藤 軍 太 四〇 機  
佐 藤 保 吉 三〇 應  
佐 藤 松次郎 三八 養建  
佐 藤 真 四〇 織  
佐 藤 政 一 三五 機  
佐 藤 榮 四〇 機  
佐 藤 榮 作 三七 機  
佐 藤 三 郎 二七 機  
佐 藤 吉三郎 三七 養建  
佐 藤 勇太郎 二五 應  
佐 藤 秀 也 三八 機  
佐 伯 留 造 四〇 電機  
佐 田 友 雄 三三 染  
佐 竹 規 方 三二 染  
佐 野 多一郎 二二 機  
佐 野 喜太郎 三五 養陶  
佐 野 志 郎 三八 電機  
佐 野 靜 哉 三〇 養金速

佐久間 石太郎 三三 養窯  
佐久間 方 雄 二八 機  
佐々一 郎 四〇 圖  
佐々成 吉 三六 織  
佐々木 孝 四〇 機  
佐々木 高 吉 二三 機  
佐々木 綱 雄 三九 應  
佐々木 葆太郎 三九 電機  
佐々木 禎 三四 染選  
佐々木 阿三郎 二一 染速  
佐々木 彦太郎 三八 機  
佐々木 清 吉 三五 機  
佐々木 正 三 三六 應  
澤 全 雄 二九 應  
澤 田 義 一 四一 應選  
坂 田 眞太郎 三八 電化  
坂 内 孫 六 二五 機  
坂 井 勝 三四 織  
坂 崎 晋 三 三八 染  
坂 本 宗太郎 四一 染  
坂 本 熊 藏 二九 養木  
坂 本 充 稔 四一 電機  
坂 本 盛 一 三三 窯  
坂 本 菊 吉 二八 養織速  
酒 井 宗 吉 三八 機  
酒 澤 吉 次 四〇 機  
實 吉 永 四一 織  
櫻 井 進 一 四一 機  
櫻 井 眞 平 三三 應  
作 山 專 吉 二〇 機  
作 間 政 介 四〇 應  
皿 田 精 一 三二 電機

笹部 龍四郎 三六 機  
 笹田 熊之助 三七 窯  
 笹村 萬藏 二五 機  
 笹井 熊之助 三七 窯  
 定平 建太郎 三四 電機  
 崎田 弘 三二 機  
 崎村 米造 三六 機  
 鮫島 齋示 三一 養陶速

きノ部

木原 寛 四〇 電機  
 木戸 傳 二四 機  
 木戸 三郎 三四 電機  
 木尾 義賢 三七 機  
 木谷 太兵衛 四〇 電化選  
 木川 行藏 二九 機  
 木村 八彦 三八 織  
 木村 亮治郎 三八 電機選  
 木村 金一 三六 應  
 木村 鹿六 三七 機  
 木村 英夫 三八 應  
 木村 善七 三八 電化  
 木下 漫吉 三六 應  
 木下 勇茂 二七 機  
 木下 研三 三二 應  
 切目 宗吉 四一 電機  
 京極 晴雄 三七 圖  
 許炳 塾 四〇 染選  
 來田 親之助 三九 電機  
 喜多 正藏 三三 機  
 喜多野 逸次 三〇 機  
 喜多島 二虎 三二 機

北川 熊次郎 四〇 圖選  
 北川 伍郎 三九 電機  
 北川 喜吉 四〇 機  
 北村 雅人 三八 織  
 北村 國治 四一 機  
 北村 彌一 二二 窯  
 北村 正雄 三三 機  
 北村 剛 三二 機  
 北山 一太郎 二五 機  
 北澤 岩吉 三一 養木速  
 狐崎 武夫 四一 電機  
 吉川 長治 三九 養染  
 吉良 孫三郎 二二 應  
 菊原 貞一 三二 機  
 菊池 時任 三六 電機  
 菊池 節也 三三 電機  
 菊地 精三 三六 養金速  
 菊地 午之助 二八 機特  
 菊地 正治 四一 電化  
 菊地 新平 三七 應  
 菊井 信造 四〇 電機  
 貴家 璋造 三ノ部ニアリ  
 貴島 勇介 三三 機  
 若島 潔 三六 應  
 岸 五郎 二五 應  
 岸 久重 二四 應  
 岸田 軒造 四〇 機  
 岸井 堯 三八 應  
 岸山 憲二 三一 機  
 岸本 主馬 三一 機  
 岸本 節男 三〇 機  
 金 鼎 三三 機特

ゆノ部

湯地 藤一 三八 應  
 湯澤 比古一 四一 養染  
 湯本 租一 三三 應  
 結城 市之助 三三 養織  
 弓氣田 弘 三二 機  
 由布 高 二七 機

めノ部

目賀田 壽 三二 機

みノ部

三上 虎太郎 三二 養應  
 三上 壽松 三四 織  
 三田 久太郎 三九 機  
 三田 昇之助 三八 養建  
 三谷 美種 三七 應  
 三好 唯吉 二八 機  
 三好 三也 三四 應  
 三好 廣吉 三六 電機  
 三戸 増三 三ノ部ニアリ  
 三侯 留吉 三六 機  
 三枝 基太郎 三ノ部ニアリ  
 三村 保 二九 機  
 三村 助市 三九 電機  
 三浦 徳次郎 四〇 養織  
 三浦 莞爾 三七 織  
 三浦 大造 三五 應  
 三浦 梅之助 二八 機  
 三浦 清海 三四 機

三井 四一 二五 機  
 三宅 叔藏 二〇 機  
 三澤 敏耶 三六 機  
 三澤 宜一 三八 機  
 三木 正夫 二一 機速  
 三木 昌吉 三八 養建  
 三木 鹿三郎 三三 電機  
 三島 恒次郎 三八 圖  
 三杉 睦造 四〇 電機  
 箕浦 參作 四〇 應  
 箕浦 實一 四一 圖  
 溝畑 直三郎 四一 織  
 溝口 爲次郎 四〇 應選  
 光澤 義男 三六 機  
 水田 五 二二 染  
 水谷 誠之助 三五 織  
 水津 庄司 四一 機  
 水内 六太 三三 電機  
 水野 太郎作 三三 應  
 水野 忠真 二六 機  
 水野 忠作 三九 機  
 水野 環 三二 機  
 水野 誠 四〇 圖  
 水野 清瀬 三二 機  
 水崎 鐵太郎 三五 應  
 峰田 善助 二九 養金速  
 峰岸 善七 三八 織選  
 藥袋 順雄 二九 機  
 宮石 十四郎 二九 機  
 宮部 直哉 三〇 機  
 宮地 貞恒 三三 機  
 宮川 一 三〇 機

宮川 利一 三七 電機  
 宮川 正夫 三五 染  
 宮川 萬手彦 三二 電化  
 宮川 源一 四一 應  
 宮田 晴三 三六 機  
 宮武 義次郎 三六 機  
 宮永 信成 三九 織  
 宮之原 通徹 三三 窯  
 宮澤 鶴次郎 三一 機  
 宮澤 惟秀 三九 養圖  
 宮崎 方信 三一 機  
 宮崎 嘉明 三五 電化  
 宮崎 喜佐次 二九 養木速  
 宮本 藤一 四一 電機  
 宮本 常夫 三五 染  
 宮本 忠平 三九 圖  
 美馬 延吉 三三 應  
 都澤 正章 二六 染  
 御手洗 道一 三三 應

しノ部

柴 友吉 三〇 養金  
 柴田 才一 一九 染  
 柴田 鍋次 三一 機  
 柴野 興五郎 二九 養木速  
 柴山 與四郎 三三 養金  
 芝 環 三八 養金速  
 芝原 道信 三九 織  
 芝田 理八 三九 養窯  
 芝崎 惣吉 四〇 應  
 搦 繁雄 三七 養漆速  
 搦原 鈞 二七 染

搦田 亥之助 三三 機  
 搦谷 朝一 三三 機  
 搦屋 謙二 三八 養建  
 搦見 長儀 三六 織選  
 搦見 義夫 三二 機  
 潮崎 源次 三四 機  
 志賀 俊雄 三九 織  
 志賀 幹次郎 三〇 機  
 志田 彦十郎 二三 染選  
 志村 龍三 三三 電機  
 志倉 光繼 三二 機  
 志水 三津男 四〇 電機  
 鹿倉 隆一 三九 染  
 莊 岩生 三八 機  
 莊 榮次郎 四一 電機  
 莊田 平象 三八 機  
 莊田 金助 四一 機  
 莊野 龜次郎 二九 機  
 莊司 富助 三七 養木速  
 莊司 兼治 三一 機  
 正野 潔 三九 機  
 徐 家瑞 四〇 染選  
 白戸 半半 二八 養染速  
 白井 真一 三三 機  
 白井 秋彦 三八 織  
 周 培炳 三七 應選  
 周 連之助 四〇 機  
 習田 信三 三七 機  
 篠 淵太郎 三五 機  
 篠原 五郎 四一 機  
 篠崎 友三 二五 窯  
 島 邦生 三〇 養木

島田綱市	三四	養窯	廣川外五郎	三七	養木速	平松藤太郎	三二	機
島田房太郎	三三	電機	廣田本一郎	二八	機	平松武	二六	應
島田貢	四〇	養應	廣井鋼之助	二一	染速	平松甚吉	三四	機
島田慎	二三五	應	廣井磯男	三〇	應	平松彦平	三五	織
島本良助	三四	電機	廣木八郎	二六	織	平澤平吉	二五	機
重成壽太郎	二九	養金	廣瀬雄治	三七	染	兵頭勝	三九	機
重信國吉	三〇	養木速	尾藤剛	二五	機	百武欽二郎	もノ部ニアリ	
重松市三	三九	機	比企彰	三七	機	彦坂萬次郎	四〇	織
重森健	四一	應	ピチヤールマン・シンハラ	三八	窯選	久田喜一	三六	養木速
澁谷勝一	三六	機	樋渡重右衛門	二四	機	久野五十志	三七	電機
澁谷廣次	三五	養染	樋野榮	三七	電機	久野金一	三一	應
清水勉治郎	四〇	機	樋口傳左衛門	三七	染	久松源次郎	二七	應
清水徳松	四〇	養木速	樋口省吾	四一	織	久末武次郎	二二	染
清水忠平	三二	應	樋口清	三四	電機	久住久	三四	窯
清水千穂彦	三三	應	東山多三郎	二八	養木速	正田桂太郎	三三	養應
清水和吉	三八	織	日吉昇作	三九	機	正田玄龜	三一	機
清水武紀	三八	應	日向野儀四郎	三一	機			
清水榮藏	三七	機選	日置愷吉	へノ部ニアリ				
下精一	三八	染	日比省三	四〇	染	茂呂信義	一九	染
下川美佐雄	四〇	機	平岩磯一	三七	機	茂又確	二〇	機
下田傳三	三七	織	平原篤之助	三八	窯	茂木忠次	三六	機
下山又次郎	二三	染	平尾英臣	三四	養應	守山修三	三八	電化
下坂禾苗	四〇	織	平尾鏡三郎	一九	染	毛利圓策	二九	養應
進藤俊介	三五	電化選	平岡三郎左衛門	三三	機	毛利教明	二九	應
進藤省吾	三五	機	平田專太郎	一九	染	森俊之助	三二	染
進士知耶	三三	應	平井半	三六	應	森嘉吉	三九	應
穴道政一	三九	養織	平野六郎	三七	窯選	森只一	四一	機
新谷次郎	三四	養建	平野俊雄	四一	電機	森照	三四	養染
神野金之丞	三七	機	平野耕輔	二四	窯	森勇三郎	三〇	養窯
			平野保太郎	三八	電化	森眞平	三九	電機
			平野將	二五	機	森英一	三七	應
						森戸政治	二七	機

ひノ部

緋田嘉五郎 四一 機選

森川龍喜代	二八	機	瀨谷澄美	四〇	應	菅原富治	三〇	養木速
森田修	二五	應	瀨谷準造	二九	應	菅原榮太郎	三八	織
森田果義士	二二	機	瀨古太一郎	三四	應	菅田亮治	三六	染選
森田太三右衛門	三五	應	關邦己	三七	圖	菅野碩	三八	應
森田直治	四一	機	關徹郎	三八	機	菅澤美發	三八	應
森田儀一郎	二八	應	關佐太次	三九	養染	杉原平太郎	二五	機
森田茂樹	三五	圖	關戸誠三	四一	染	杉上恒五郎	三六	機
森田晨次	三三	機	關戸七郎	三九	應	杉田庵	三七	機
森竹素彦	三六	機	關岡豊治	三五	機	杉田稔	二七	機特
森山義生	三八	應	關根嘉助	二五	機	杉田清吉	二二	染
森山勇三郎	三六	染	關口寛一	一九	窯	杉村伊兵衛	三九	機
森山弘助	三四	織	關口録吉	一九	染	杉井文平	三二	機特
森澤菊吾	二五	機特	關口八重吉	二九	機	杉浦倉次郎	二七	機特
森本十七八	三三	養圖	關谷彌四郎	三八	織	杉浦眞事	三九	電化
森本常治	三一	養木速	關本幸次郎	三八	織	杉谷四郎	二七	機
森本茂樹	四〇	機	妹尾由藏	三三	養應	杉山知多郎	四一	養圖
盛山祿衛	四一	機	千田凡男	三〇	機	杉山慶一	四一	電機
望月正一	三三	電機	千石正良	二八	養金速	杉山良俊	二五	染
本尾安治郎	三〇	機	千石眞男	四一	機	杉山新	三六	染
本山環平	三〇	機	錢家澄	四一	應選	杉山宗助	三五	圖
門田小三郎	二一	染	セーエンサハエ	四一	機選	杉目憲作	三六	染
門間康道	三七	機				杉本源吾	二一	機
百武欽二郎	三〇	機				杉本喜市	四一	機
百木三郎	三二	窯				角田秀丸	つノ部ニアリ	
百瀬融	三六	應				住吉造	三八	織

すノ部

水津庄司 四一 機  
 須原坦 三七 機  
 須藤常忠 四〇 機  
 須藤五郎吉 三九 窯  
 須藤新作 三九 織  
 須田豊作 四一 養織  
 須田智 三七 窯  
 須々木重太郎 四一 機  
 菅器三 三八 養金速

せノ部

税田谷五郎 さノ部ニアリ  
 清家慶次 三五 應  
 勢家弘藏 二二 染  
 芹澤景邦 三二 應  
 瀬尾亮吉 三七 機

卒業者索引

鈴木 惣十郎	三四	養金速
鈴木 成夫	三七	圖
鈴木 正孝	四〇	染
鈴木 顯三	四〇	機
鈴木 健次郎	四一	電機
鈴木 定一	三四	養金
鈴木 菊次郎	四一	機選
鈴木 金藏	二七	機選
鈴木 金次郎	四一	圖選
鈴木 滿太郎	三七	機選
鈴木 滿	二六	機
鈴木 重一	三九	染
鈴木 重義	三二	機
鈴木 廣太郎	三二	機
鈴木 城	三八	機
鈴木 仙次郎	二九	機
鈴木 末男	三七	機
鈴木 捨藏	三四	機
鈴木 鈴馬	二六	機
鈴木 眞直	四一	機
鈴木 政彦	三八	機
鈴木 近太郎	三八	機

東京高等工業學校附屬職工徒弟學校一覽

目次

一 學年曆及年中行事	一
一 沿革	二
一 實業協議員規程	三
一 實業協議員	四
一 職員	四
一 建物及設備	五
一 規則要項	五
第一章 目的及入學者ノ資格	五
第二章 教科及教旨	六
第三章 入學、在學及卒業	七
第四章 學資	九
一 生徒貯金	一〇
一 同窓會	一一

一 工友會	一一
一 生徒定員及現數表	一一
一 生徒氏名	一三
一 生徒職業別	一四
一 卒業者專修科別表	一五
一 卒業氏名	一七
一 卒業者就職ノ狀況表	二三
一 卒業者并在學生地方別表	二四



東京高等工業學校附屬職工徒弟學校一覽

學年曆及年中行事

全	明治四十一年四月十一日	前學期始ル
全	四月十二日	本日ヨリ三日間入學試験ヲ行フ
全	四月下旬	生徒身體検査、遠足運動ヲ行フ
全	五月廿六日	休業(東京高等工業學校創立紀念日)勅語奉讀式ヲ行フ
全	八月一日	夏期休業始ル
全	八月三十一日	夏期休業終ル
全	九月二十四日	休業(秋季皇靈祭)
全	九月三十日	前學期終ル
全	十月一日	後學期始ル
全	十月十七日	休業(神嘗祭)
全	十月下旬	生徒遠足運動ヲ行フ
全	十一月一日(或十五日)	生徒保護者會ヲ開ク
全	十一月三日	休業(天長節)

全	明治四十一年十一月二十三日	休業(新嘗祭)
全	十二月	本月第三年生ヲ引率シテ市内工場ノ參觀ヲナス
全	十二月二十五日	冬期休業始ル
全	明治四十二年一月七日	冬期休業終ル
全	一月三十日	休業(孝明天皇祭)
全	二月十一日	休業(紀元節)
全	二月中旬	官報ニテ生徒募集廣告ヲナス
全	二月下旬	市内小學校男生徒ニ本校ヲ觀覽セシメ又第三年生ヲ引率シテ他工場ノ參觀ヲナス
全	三月上旬	新聞ニテ生徒募集廣告ヲナス
全	三月二十一日	休業(春季皇靈祭)
全	三月二十五日	卒業證書授與式ヲ行フ
全	四月三日	休業(神武天皇祭)
全	四月四日	春季休業始ル
全	四月十日	春季休業並後學期終ル
全	日曜日及土曜日午後ハ休業トス	

學年曆及年中行事

沿革

本校ハ明治十九年一月高等商業學校附屬商工徒弟講習所中ニ職工科ヲ設置セルニ濫觴ス蓋シ其趣旨ハ職工ノ子弟ヲ教育シ能ク其ノ業ヲ執リ得ヘキ者ヲ養成スルニアリ。十月高等商業學校舊校舍ヲ教場ニ充テ徒弟ヲ募集シ十二月一日授業ヲ始ム當時教科ハ唯木工ノ一科ニシテ生徒定員ヲ三十名トシ専ラ修業者ノ便ヲ計リシト雖モ其後教場等ノ都合ニ依リ一時徒弟ノ募集ヲ中止セリ

明治二十三年一月本科ヲ職工徒弟講習所ト改メ更ニ東京職工學校ノ附屬トシ今ノ地ニ移セリ。八月本所ヲ職工徒弟學校ト改稱シ規則ヲ制定シ生徒定員ヲ増シテ百二十人トシ新ニ金工科ヲ設置シ始メテ授業料ヲ徴收セリ。十月實業協議員ヲ置キ其規定ヲ定ム此年三月東京職工學校ヲ東京工業學校ト改稱セラル  
明治二十四年七月規則ヲ改正シテ始メテ主事ヲ置キ學

科課程ヲ更メ又貧困者ノ子弟ハ其情狀ニ依リ授業料ヲ免除セリ

明治二十六年七月規則ヲ改正シテ從來ノ如ク木工金工各數種ノ實技ヲ併修セシムルコトヲ止メ更ニ木工科ヲ大工、指物、木型ノ三分科ニ金工科ヲ鑄造、鍛冶、仕上板金工附録工ノ四分科トシ當初第一年ニ於テノミ各其一般ニ通スル作業ヲ豫修セシメ第二年ヨリ志望ノ一科ヲ專習セシムルコトナセリ又授業料ヲ半減シテ第一年生ノ外ハ之レヲ徴收セサルコトトシ且ツ休學ノ制ヲ定メ職工認定證書授與ニ關スル規程ヲ設クル等專ラ入學者ノ便宜ヲ計レリ

明治三十一年九月始メテ工業教員養成所生徒ヲシテ本校生徒ノ授業練習ヲナサシムルノ制ヲ定メラル。十二月本校假校舍及工場ノ一部燒盡シテ器具圖書ノ類殆ト全ク烏有ニ歸セリ  
明治三十二年六月規則ヲ改正シテ生徒定員ヲ増シテ百

五十人トシ學科課程ヲ更メ補習生ニ關スル規定ヲ設ク  
明治三十二年十二月校舍及工場ノ新築成ル今ノ建造物是レナリ

明治三十四年四月規則ヲ改正シテ從來木工科ニ屬セル木型ヲ金工科ニ移シ更ニ木工科ニ建築製圖ノ一科ヲ加ヘテ前ノ大工指物ト併セ三分科トシ又金工科ニ機械製圖ノ一科ヲ加ヘテ前ノ鑄造、木型、鍛冶、仕上、板金工附録工ト併セ六科目トシ且ツ生徒定員ヲ増シテ百八十人トス。五月東京工業學校ヲ東京高等工業學校ト改稱セラル

明治三十七年三月更ニ機織科ヲ増設シ七月又規則ヲ改正シテ鑄造、木型、板金工附録工、建築製圖、機械製圖ノ五分科ヲ廢シ木工指物分科ヲ家具分科ト改メタリ是レ我工業界ノ現況ニ鑑ミ特ニ急要ナルモノニ向ツテ主力ヲ注カントノ旨趣ニ出テタルナリ且入學者ノ學力ヲ高メ授業料ハ一般ニ之レヲ徴收スルコトトシ又學

業獎勵ノ途ヲ開ク等釐革スル所尠カラス

明治四十年三月規則ヲ改正シテ從前ノ教科ニ加フルニ金屬小細工科、電氣科、色染科、製版科、製革科、漆工科、窯業科(此ノ科ハ當分實施セス)ノ七科ヲ増設セリ是レ我ガ工業界ノ現狀ヲ見ルニ其發達進步ハ單ニ機械製作若クハ木工業ノミニ止ラス金屬小細工業、電氣業其他化學的工業ノ如キモ亦大ニ發展ノ機運ニ向ヒタリト雖モ之カ教育機關ハ殆ント皆無ナルヲ以テ適良ノ職工ヲ得ルノ途缺如セルコト當事者ノ不便トスル所ナレハ本校ハ是等ノ教科ヲ増設シ善良ナル職工ヲ養成シテ其發展ニ資セントスルニアリシナリ、從ツテ生徒定員ヲ増シテ二百十人トシ授業料ヲ増額スル等釐革スル所少ナカラス

實業協議員規程 (明治三十三年十月制定)

第一條 實業協議員ハ本校教科ノ實業ニ涉ル事項ヲ協議ス

沿革 實業協議員規程

第二條 實業協議員ノ定員ハ十二名以内トシ左ノ人員ヲ以テ之ニ充ツ

- 一、本校教科ニ關係アル吏員及實業家八名以内
- 一、東京高等工業學校染織科長、機械科長、建築科長

一、東京高等工業學校附設工業教員養成所主事

第三條 實業協議員ハ東京高等工業學校長之ヲ囑託ス

第四條 實業協議員ハ臨時實業ニ關スル意見ヲ陳述ス

ルモノトス又本校利害ノ消長ニ關スルコトハ何事ニ

依ラス之ヲ建議スルコトヲ得

第五條 實業協議員全體ノ意見ヲ要スヘキ事件アルト

キハ東京高等工業學校長ハ各協議員ノ會同ヲ求メ會

議ニ附スヘシ

實業協議員 (囑託順)

屋井 琢 新潟平  
杉田幸五郎 東京平

小林 義雄 東京士  
岩佐長三郎 東京平  
吉武榮之進 東京士  
滋賀 重列 東京士  
工學博士理學士 阪田 貞一 東京士  
機械科長

職員

(明治四十一年十二月一日現在)

東京高等工業學校校長 手島 精一 千葉士  
東京高等工業學校教授 主事 河津 七郎 大分士  
東京高等工業學校助教授 任上分科 秋月源太郎 静岡平  
理科、工作法、製圖 並機織科主任 古川 良八 佐賀平  
同 製圖、工作法 木工科 主任 木檜 恕一 群馬平  
同 工作法、製圖 主任 吉田 全三 宮崎平  
同 工作法、製圖 任上實修 田島 義造 埼玉平  
東京高等工業學校雇 任上工作法 山中 忍 茨城士  
同 事務掛  
同 木工工作法 大工實修 清水 徳松 静岡平

同 體操、事務掛

水野 勝藏 埼玉士

師範職工

鍛工實修 植村 勇 東京士

同

家具實修 森本龜次郎 東京平

建物及設備

本校ハ東京高等工業學校内ニ在リテ學科ノ授業ヲナス  
ヘキ教室一棟(貳百四十五坪餘)ト實修工場二棟(參百  
六拾參坪)其他附屬ノ建物ヲ有シ各工場ニ在テハ本校  
所設教科ニ關スル實業ヲ授ケ得ヘキ機械器具ヲ有ヒリ  
其概要左ノ如シ

木工科實修工場設備

木工科ニ電氣發動機ヲ裝置シ之ニ依リテ鋸盤三臺鋸機  
械一臺鑿掘機械二臺廻砥及新ニ購入シタル線形機械二  
臺ヲ運轉シ尙他ニ鉋掛機械柄機械數臺ヲ購入シ之ヲ機  
械科木工場ニ据付家具ノ機械的製作ヲナシ此外手働機  
械數臺ヲ有シ生徒實修ノ用ニ供ス

金工科實修工場設備

七馬力ノ石油發動機トナシ鋸盤十三臺平削機一臺成形  
機二臺錐採機械一臺及ヒ金剛砂砥鋸機械等ハ從來ノ据  
付ヲ變更シテ工作ニ便ナラシメ取付萬力六十ヲ設備シ  
以テ仕上分科實修ニ供シ扇風機二臺ハ火床五組ニ送風  
シテ鍛工實修ニ供ス來ル一月ヨリハ動力トシテ電動機  
ヲ用ヒ石油發動機ハ臨時ノ停電ニ供フルコトトス

金屬小細工科、電氣科、機織科、  
色染科、製版科、製革科、漆工科  
ノ實修工場

此ノ七科ハ東京高等工業學校工場ニ於テ實修セシムル  
ヲ以テ母校ノ設備ハ以テ徒弟學校生徒ノ實修用ニモ供  
セラルルモノナリ

規則要項

第一章 目的及入學者ノ資格

本校ノ目的ハ工業ニ従事スヘキ善良ナル職工ヲ養成シ

兼テ職工教育ノ方法ヲ研究スルニアリ而シテ從來職工ハ年期徒弟法ニ於テ養成セラレ技能ニ巧ミナルモ知識ニ缺クル所アリテ工業ノ進歩ニ影響スル所少ナカラス故ニ本校ハ學科ニ三分ノ一實修ニ三分ノ二ノ教授時間ヲ配當シ以テ知識ト技能トヲ兼備スル職工ヲ養成スルコトヲ務ム然レトモ工業ノ種類ニ依リテ學術ノ原理ヲ製造上ニ應用スルノ多少ハ免レサル所ナルカ故ニ其最モ學術ノ研究ヲ要スヘキ業務タル木工科、金工科、金屬小細工科、電氣科、機織科、色染科、製版科、製革科、漆工科、窯業科ヲ置キ是等善良ノ職工養成ヲ企圖セリ

上記ノ目的ヲ以テ養成スルモノナレハ本校ニ入學スヘキモノハ是等專門ノ學科ヲ學ブニ必要ナル算術、物理化學、圖畫等ノ素養アルハ最モ望ム所トス又本校ハ工場實修ニ重キヲ置ク故ニ子弟ニ於テ職工タル十分ノ決心ヲ有スルト同時ニ之レカ保護者タルモノモ又職工タル

ラシムヘキ確固タル決意ヲ以テ入學セシムルコトヲ要ス否ラサレハ中途退學シ當ニ子弟カ當初ノ目的ヲ達セサルノミナラス本校ノ教育モ亦徒勞ニ屬スルヲ以テナリ

### 第一章 學科及教旨

本校ハ木工科(大工分科、家具分科)金工科(仕上分科、鍛工分科)金屬小細工科、電氣科、機織科、色染科、製版科、製革科、漆工科、窯業科ノ十科ニシテ各專門ニ屬スル學科ノ外修身、算術、物理、化學、自在畫、體操ノ諸科ヲ六學期間ニ配當教授セリ是等ハ皆專門學科研究ノ基礎タルヘキ學科ナレハ各生徒共通ニ教授ス又專門學科トシテ其專修ノ工業ニ必須ナル各科特別ノ工作法製圖ヲ課ス其要項左ノ如シ

#### 授業要項

##### 修身

修身ニ於テハ其工トシテノ品性陶冶ニ務メ日常適切ノ實際問題ヲ取りテ

常識ヲ養ヒ先強ノ嘉言善行ヲ學ケテ其德行ヲ慕ハシメ工業者ノ道徳ヲ重ニスヘキヲ知ラシム

### 算術

算術ニ於テハ工業者トシテ日常ニ適切ノ項目ヲ選定シ兼テ普通學ノ知識ヲ増進セシメ終リニ簡易ナル公式ノ代數的變化及其取扱ニ熟セシム

### 理科

理科ニ於テハ物理、化學ノ大意ヲ授ケ尙ホ進ンテ工業者ニ最モ必要ナル電氣、運動力、機械、材料強弱、發電氣ノ大意ヲ教授シ專門學科ノ豫備ニ供ヘシム

### 自在畫

自在畫ニ於テハ鉛筆畫ヲ專用シ主トシテ見取ナシ實物ノ寫生ニ熟セシメ兼テ綿密ナル注意ノ養成ニ資ス

### 大工工作法、家具工作法

大工工作法ニ於テハ木工材料、木工具ヨリ進ンテ和風建築ニ於テハ繩張水盛、造形、地形、石据ヨリ和風小屋造作建具ノ構造法及規矩ヲ授ケ洋風建築ニ於テハ壁、小屋造作建具等ノ構造ヲ授ケ家具工作法ニ於テ木工材料、木工具、家具製作法ヲ授ケ

### 仕上、鍛工工作法、機織工作法

仕上鍛工工作法ニ於テハ金工用材料工具及製作法機械工具ノ構造及其用

## 第二章 學科及教旨 第三章 入學在學及卒業

法機械製作法ヲ授ケ機織工作法ニ於テハ金工用材料工具及製作法、機織法一般、力織機、織物整理ヲ履修セシム

### 金屬小細工、電氣、色染工作法

金屬小細工々々工作法ニ於テハ金工材料工具及製作法、板金工作法、鍍金法ヲ授ケ電氣工作法ニ於テハ金工材料工具及製作法、電氣機械製作法ヲ授ケ色染工作法ニ於テハ金工材料工具及製作法、色染法大意ヲ教授ス

### 製版法

製版法ニ於テハ製版材料各種製版大意、寫真法大意ヲ授ケ

### 製革法

製革法ニ於テハ製革材料及製革法ヲ授ケ

### 漆工々々工作法

漆工々々工作法ニ於テハ木工材料工具及製作法、髹漆法ヲ授ケ

### 窯業工作法

窯業工作法ニ於テハ陶磁器材料及製作法ヲ授ケ

### 各科製圖

各科ヲ通シテ平面幾何畫法、立體幾何畫法及見取圖ヲ描カシメ尙大工分科ニ在テハ建築製圖、建築設計初步ヲ仕上、鍛工分科機織科ニ在テハ機械製圖機械設計初步ヲ授ケ

## 第三章 入學、在學及卒業

入學期 入學ノ期ハ每學年ノ始メ即チ毎年四月トシ各科第一學年ニ入學ヲ許ス

修業年限 大工分科、仕上分科、鍛工分科、金屬小細工科、電氣科、機械科、色染科、製版科、製革科、漆工科、窯業科ハ各三箇年トシ家具分科ニ在テハ一箇年乃至二箇年トス

入學試驗及出願期日 入學試驗ハ毎年四月十二日ヨリ三日間之ヲ行フ入學志願者ハ毎年三月中ニ入學願書ニ履歷書ヲ添ヘ本校ニ差出スヘキモノトス

入學者ノ資格 各科(家具分科ヲ除ク)ノ入學志願者ノ學力ハ尋常小學校ヲ卒業シ年齢滿十二年以上十八年以下ノ者但年齢滿十四年以上ノ者ハ前記ノ資格ナキモノト雖モ特ニ入學試驗ヲ受ケ入學セシムルコトアリ  
家具分科入學志願者ノ學力ハ尋常小學校第四學年ヲ修了シ若クハ之ト同等以上ノ學力ヲ有シ年齢十五年以上ニシテ當該實技ノ素養アル者

入學試驗 ハ左ノ學科目ニ就キ試驗ス

- 一、國語
  - 一、算術
  - 一、自在書
- 家具分科ニ在テハ前項科目ノ外當該實技ニ就キ試驗ス

學級ノ編成 本校ハ實修ヲ以テ學年ヲ定メ一學年、二學年、三學年トシ學科ニ在テハ學期ニ分チ第一學期ヨリ第六學期ニ至ル故ニ實修學年ノ何レニアルヲ問ハス相當學力ノ學期ニ編入シ其力ニ相應シタル學科ヲ授クルヲ以テ實修ニ於テ三學年ノ卒業期ニ至ルモ學科ニ於テ各科最終ノ學期ヲ修了セサルモノハ卒業スルコトヲ得ス

補習生 卒業生ニシテ既修ノ實技又ハ其他ノ教科目ヲ補習セント欲スルモノハ左ノ教科目ノ一ヲ選ヒ二箇年以内補習生トシテ在學スルコトヲ得

大工、建築製圖(大工分科卒業生ニ限ル)  
仕上、機械製圖(仕上分科卒業生ニ限ル)

鍛工、

(鍛工分科卒業生ニ限ル)

力織機、織物整理(機械科卒業生ニ限ル)

補習生ハ授業料ヲ徴收セス

獎學賞金、賞與、賞品、賞牌 品行善良學業優等ニシテ全校生徒ノ模範タル生徒ニハ特ニ獎學賞金二十五圓ツ、ヲ給スルコトアリ、生徒學期中品行善良學業優等ノ者ハ次學期中授業料ヲ免除スルコトアルヘシ平素品行善良ニシテ課業ヲ勵精シ其成績佳良ナル者又ハ遅刻早退缺席ナク誠實ニ規律ヲ確守シタル者ノ中ニ就キ學年ノ終リニ於テ賞品若クハ賞牌ヲ附與スルコトアルヘシ

在學中品行善良學業優等ニシテ規律ヲ確守シタモノニハ卒業ノ際賞品ヲ附與スルコトアルヘシ

在學中行狀最善良ナリシ者ニハ卒業ノ際善行證明書ヲ授與ス

卒業證書 各教科目ニ就キ所定ノ課業ヲ修了シタル者

ニハ最終學年末ニ於テ卒業證書ヲ授與ス

補習證書 補習生トシテ六ヶ月以上在學シタル者ニハ

補習證書ヲ授與ス

現業練習及職工認定證書 卒業生ハ卒業後二箇年間本校ノ監督ヲ受ケ現業練習ノ爲メ官私ノ工場ニ於テ實地ノ作業ニ従事スヘキモノトス但現業練習ニ従事スルノ便宜ヲ得サルモノニ在テハ承認ヲ經テ本校工場ニ於テ實修ヲナシ又ハ一時他ノ業務ニ従事スルコトヲ得  
現業練習ヲ了ヘ當該工場ノ證明アルモノニハ職工認定證書ヲ授與ス

第四章 學 資

學資概算 本校生徒ハ在學中毎月授業料金壹圓ヲ出スノ外圖書用紙、鉛筆等ヲ購入スルノミニテ極メテ少額ノ學資ニテ足ル一ヶ月間ノ概算左ノ如シ

- 授 業 料 一、〇〇〇
- 工友會費 〇、一〇〇

鉛筆 〇、〇五〇  
 製圖用紙 〇、一〇〇  
 帳簿ゴム等 〇、〇五〇  
 計 一、三〇〇

前表ノ外入學ノ初ニ圖引道具二圓、三角規定三十錢曲尺(竹)十錢、教科書六十錢其外ニハ小刀、羽箭、留針筆入等ヲ購入セハ足ルヘシ又二年、三年ノ始メニ一圓許ノ書物購入費ヲ要ス

生徒貯金

本校ノ目的ハ善良ナル職工ヲ養成スルニ在レハ當ニ生徒ノ學力技術ノ發達ノミヲ以テ足レリトセス尙ホ深ク其性行ヲ觀察シ惡ヲ去テ善ニ就カシメ他日獨立シテ一家ヲ經營スル上ニ於テ必要ナル諸徳ヲ涵養セントスルハ本校ノ大ニ努ムル所ナリ是レ習慣ハ第二ノ天性ニシテ之レカ養成ハ幼時ニ於テセサルヘカラサルヲ以テナリ以上ノ趣旨ニ基キ本校ハ茲ニ其教養上ノ一助トシテ

次ノ如キ生徒貯金規約ヲ設ケ生徒在學中平常消費スル金錢ノ幾分ヲ節シテ貯蓄セシメ一ハ以テ金錢ヲ浪費スル惡習ヲ矯正シ一ハ以テ卒業就職ノ日要スル費用ノ幾分ヲ補充セシメントス是レ事小ニ似タレトモ不用ノ物品ヲ購入シテ金錢ヲ徒費スルハ少年者ノ陷リ易キ惡習ニシテ他日自立ノ時其性行ニ及ホス影響尠カラズ殊ニ漸次世人ノ華者ニ流レントスル今日此等習慣ノ養成ハ實ニ必要ノコトナリトス故ニ生徒貯金函ヲ備ヘ規約ヲ設ケ貯金高十錢以上ニ達シタルモノハ毎月廿五日開函シ會計主任ニ於テ郵便貯金ノ手續ヲナシ通帳ハ主事之ヲ保管ス而シテ貯金ノ拂戻ハ本人卒業ノ時半途退學ノ時其他主事ニ於テ拂戻ヲ適當ト認メタル時ニ限ルコト、セリ

貯金表

貯金額	貯蓄人員	生徒人員
九〇、九九〇	一二四	一八〇
一〇、八〇〇	五一	一八〇

同窓會

同窓會ハ卒業者カ相互ノ氣脈ヲ通シ互ニ親睦ヲ計ルヲ以テ目的トシ春秋二季ニ會合ス而シテ春季ニ在テハ當校卒業式ノ當日ニ於テ秋季ニ在テハ多數工場ノ休業日ヲ利用シ校內若クハ郊外ニ開クコト、セリ

工友會

工友會ハ在學生徒ヲ以テ組織シ圖書部、庭球部、端艇部ヲ置キ、又其事業トシテ自由販賣所ヲ設置セリ

- 一、圖書部 圖書、新聞、雜誌ノ類ヲ備ヘ、定刻ノ自由ニ閱覽ヲナシ以テ、見聞ヲ廣メ、讀書ノ習慣ヲ養フニ資ス
- 一、庭球部 放課時間中ノ生徒ノ運動ニ資ス
- 一、端艇部 放課後及ヒ休日ニ於テ漕艇セシメ海事思想ヲ養フニ資ス
- 一、自由販賣所 圖書用紙、鉛筆、留針、筆記帳等ノ學用品ヲ一定ノ場所ニ備ヘ代金引換ニ自由ニ持

去ラシメ、以テ學費ノ經濟ト信用ノ徳トヲ養フニ資セリ抑工業者ハ最信用ヲ重ンスヘキモノナルカ故ニ先正直ナル精神ヲ有セシメン爲物品ヲ取ラハ必其代價ヲ拂フヘキ義務アリ且人ノ知ルト知ラサルトニ係ハラス行ヲ二ニスヘカラサルコトノ習慣ヲ與フルノ目的ヲ以テ之ヲ施設セリ爾來三年稍其効果善良トナルニ至レリ猶一層ノ好成績ヲ舉クルニ務メ本校ノ誇リトスルニ足ラシメントス

生徒定員及現數表

(明治四十一年十一月一日現在)

定員	現在生徒數			計
	第三年	第二年	第一年	
木工科	三九	一四	一一	四〇
木工分科	六	一	二	七
家具分科	四	二	四	七
金工科	四五	一九	二〇	六四
金工分科	一	五	七	一八
鍛工分科	一	五	七	一八
金屬小細工科	二	一	二	六

電	機	色	製	製	漆	窯	合
氣	織	染	版	革	工	業	計
科	科	科	科	科	科	科	科
一五	三〇	一二	九	九	九	九	二一〇
—	五	—	—	—	—	—	四四
三	八	—	—	—	—	—	五六
六	一	四	三	一	三	—	八〇
九	二四	五	四	—	三	—	一八〇

備考 窯業科ハ當分實施セズ故ニ在學生ナシ

生徒氏名

氏名ノ上ニ特トアルハ本學期ノ特待生、牌トアルハ手島獎學賞牌、受領者ヲ示シ、又其上ニ「何回」トアルハ受領ノ回數ヲ示ス、(明治四十一年十一月現在)

第三年生(四十四名)

**木工科大工分科 (十四名)**  
 特、牌 今田 定雄 東平  
 (二回) 池田 悅治 東平  
 千矢 源一 高平  
 河合 宇三郎 靜平  
 特 川口 源七 兵平  
 高橋 友太郎 東平  
 牌 高瀬 敬次 富平  
 特、牌 谷田川 猪助 茨平  
 (二回) 眞間田 清吉 東平  
 牌 幸山 健治 東平  
 二回牌 小松 義太郎 東平  
 牌 淺子 兼藏 崎平  
 坂本 朋太郎 崎平  
 牌 島田 芳太郎 東平

家具分科(一名)

牌 畑 正人 東士

金工科仕上分科 (十九名)

二回牌 今泉 廣龜 茨平  
 星野 喜四郎 東平  
 大沼 精一 城平  
 太田 敏次 東平  
 小栗 寅三 東士  
 河内 清一郎 東平  
 雁金 徳之助 東平  
 特 川村 九八郎 枋平  
 吉田 松太郎 東平  
 牌 中川 清三 東平  
 牌 永田 市三 東平  
 特 中村 泰治 崎平  
 二回牌 村田 一 東平  
 山崎 之信 茨士  
 二回牌 山本 清三郎 東士  
 二回牌 小林 録郎 東士  
 牌 赤木 源三郎 東平  
 牌 杉浦 留五郎 東平  
 二回牌 杉浦 正次郎 東平  
 同鍛工分科(五名)  
 牌 戸田 幸一郎 東平

小野房四郎 神平

高濱 達治 東士  
 中村 耕造 東平  
 小林 善次 野平

機織科(五名)

牌 井上 信常 茨士  
 二回牌 高橋 親 茨平  
 牌 山田 豊次郎 東平  
 二回牌 木内 仲 東平  
 牌 關尾 修三 東士

木工科家具分科 (二名)

川口 三太郎 東平  
 北川 秋作 東平

金工仕上分科 (二十名)

岩崎 甲子三郎 東平  
 泉 良三 東平  
 石井 榮一 千平  
 檜 一貫 茨平  
 馬場 元安 東士  
 保坂 豊三郎 東平  
 大杉 勇 知平  
 雄城 龍雄 枋平  
 梶田 辰造 東平  
 冠木 清太郎 東平  
 鴨志田 幸太郎 神平  
 高野 銀次郎 東平  
 武田 友太郎 東平  
 永井 明嘉 東平  
 久我 史郎 阪大平  
 矢橋 榮 東士  
 矢口 正三 千平  
 小林 政四郎 東平  
 安藤 敏夫 千平

酒井 藏吉 東平

特牌 音崎 秀一 北平  
 牌 辻 慧一郎 東平  
 二回牌 中村 三太郎 野長士

同鍛工分科(七名)

永山 幸一郎 東士  
 山口 直彌 千平  
 木下 秀雄 東平  
 水谷 谷三 東平  
 金屬小細工科 (二名)  
 石津 安一 東平  
 木村 春吉 東平  
 電氣科(三名)  
 渡邊 勳 東平  
 古谷 英鏡 東士  
 秋元 伊三郎 神平  
 機織科(八名)  
 北條 芳久 京士  
 富川 豊吉 東平  
 吉村 辰雄 福平  
 高橋 壽雄 東士  
 永田 信 東士  
 小林 太郎 東平  
 秋和 岩次郎 東平

生徒氏名

十三

十二







播磨製紙所	○仕上	牧野	榮	東	士
三野製紙所	○仕上	平石	雄	新	士
東京砲兵工廠	○仕上	高野	太郎	東	平
東京高等工業學校	○仕上	飯田	三吉	東	平
島津製作所	○仕上	中澤	直幹	東	士
明治三十年三月木工科卒業(九人)	○大工	井山	政治	東	平
佐世保海軍	○大工	赤石	真	東	平
臨時海軍建築部	○大工	鈴木	麗三郎	東	平
未詳	○指物	鈴木	麗三郎	東	平
未詳	○木工	加藤	真三郎	東	平
未詳	○木工	高岩	靜	東	士
未詳	○木工	新井	金藏	東	平
未詳	○木工	石川	三郎	東	平
未詳	○木工	石谷	一靜	東	士
同金工科卒業(十七人)	○木工	大谷	重郎	東	平
新鴻市大谷	○木工	高橋	秀吉	東	平
鐵工所	○木工	西	敏次	東	平
未詳	○木工	中村	綱吉	東	平
兵十二師團歩	○木工	中村	綱吉	東	平
兵十四ノ一	○木工	中村	綱吉	東	平
深川鐵工所	○木工	中村	綱吉	東	平
×日本形染會社	○木工	渡邊	保彦	東	士
(深川)	○木工	渡邊	保彦	東	士
警視廳保安課	○木工	佐保	三郎	東	平
未詳	○木工	河村	猶造	東	平
兵役	○木工	古川	金吾	東	平
在米國	○木工	板谷	純造	東	平
未詳	○木工	川崎	福松	東	平
×王子印刷局	○木工	飯田	三藏	東	士
抄紙部	○木工	國富	正雄	東	士
未詳	○木工	須田	登	東	士
參謀本部	○木工	角南	錦	東	士
自營	○木工	村田	男	東	士
明治三十一年三月木工科卒業(七人)	○木工	高木	惠吉	東	士
自營	○木工	白井	銀次郎	東	平
未詳	○木工	佐藤	重五郎	東	平
北澤虎造方	○木工	福崎	和吉	東	平
自營	○木工	岡野	邦太郎	東	平
自營	○木工	寺崎	長三郎	東	平
東京帝國大學	○木工	高津	房次郎	東	平
臨時建築部	○木工	長谷川	新七郎	東	平
同金工科卒業(十四人)	○木工	田中	賢	東	平
印刷局	○木工	矢野	恭三	東	平
未詳	○木工	中川	周藏	東	平
芝浦製造所	○木工	森	尙三	東	平
×東京瓦斯會社	○木工	大平	遠雄	東	平
未詳	○木工	福井	士	東	平
兵役	○木工	友清	郷介	東	平
在米國	○木工	關根	清	東	平
未詳	○木工	小室	繁次郎	東	平
×燈籠川保	○木工	井出	保	東	平
兵役	○木工	馬場	治夫	東	士
未詳	○木工	小笹	康男	東	士
×同七月金工科卒業(一人)	○木工	山崎	金太郎	東	平
桐生織物會社	○木工	山崎	金太郎	東	平
明治三十二年三月木工科卒業(八人)	○木工	鈴木	木作太郎	東	平
未詳	○木工	手塚	龜太郎	東	平
日本橋區坂本	○木工	高田	德太郎	東	平
町橋川工務所	○木工	齋藤	新次郎	東	平
自營	○木工	矢部	清三郎	東	平
未詳	○木工	山	久吉	東	平
兵役	○木工	山	久吉	東	平
×長谷川金太郎方	○木工	和	田	吉	東
(神山町三ノ三)	○木工	和	田	吉	東
自營	○木工	青木	修正	東	平
同金工科卒業(二十三人)	○木工	小澤	竹之助	東	平
未詳	○木工	伊藤	豐三郎	東	平
東京海軍造船兵廠	○木工	伊藤	豐三郎	東	平
×(横濱)	○木工	森	鼎	東	平
兵役	○木工	尾	善吉	東	平
未詳	○木工	井上	樹衛	東	士

芝三四四國町	鍛冶	兼松	保三	靜	士
日本電氣會社	○仕上	石島	操	東	士
東京瓦斯會社	○仕上	佐藤	常次	新	士
在米國	○鍛冶	伊藤	詮三	東	士
未詳	○仕上	川瀬	時三	東	平
未詳	○鍛冶	篠原	重太郎	東	平
未詳	○鍛冶	下川	元信	東	士
月島電氣工作所	○仕上	加藤	清	東	士
自營	○仕上	水島	良之助	東	平
未詳	○鍛冶	安藤	元次郎	長	野
神戸作業局	○鍛冶	伊藤	秋作	東	平
兵役	○仕上	青山	庄之助	東	平
未詳	○仕上	笹田	兼吉	東	平
東京區水谷町煙草	○仕上	村松	多美藏	靜	平
東京局第一製造所	○仕上	服部	康治	東	士
×大坂砲兵工廠	○仕上	長崎	長太郎	高	士
明治三十三年三月木工科卒業(六人)	○大工	神山	文次郎	東	平
×手島賞	○大工	土井	豐吉	香	平
清水出張店	○大工	村上	彌之助	東	平
(京都島丸二條)	○大工	土井	伊三郎	東	平
未詳	○大工	林	芳之助	東	平
韓國京城學政	○大工	藤井	彌三郎	東	平
參與官房技手	○大工	藤井	彌三郎	東	平
帝國大學建築部	○大工	藤井	彌三郎	東	平
同金工科卒業(十八人)	○指物	石川	豐吉	東	平
富士製紙會社	○仕上	米澤	節衛	島	平
(第四工場)	○仕上	山本	光三郎	東	平
未詳	○仕上	近藤	由太郎	新	士
石杉社(京橋)	○仕上	川崎	信夫	京	士
未詳	○仕上	小林	代二郎	東	平
兵役	○仕上	小松	重一	東	平
東京鐵道車輛部	○仕上	高橋	茂義	東	士
×(深川)	○仕上	村松	昇一	崎	士
未詳	○仕上	山	清	靜	士
砲兵工廠小銃	○仕上	山本	仁之助	東	士
製造所	○仕上	加藤	福三郎	東	平
未詳	○仕上	瀧澤	米吉	東	平
×在米國	○仕上	小林	忠治	東	平
東京區工所	○仕上	中山	喜八	東	平
(深川)	○仕上	上野	長吉	東	士
東京電話交換	○仕上	北坊	三郎	東	平
局修繕場	○仕上	中野	英二	東	士
東京砲兵工廠	○仕上	庄司	良四郎	東	平
大阪砲兵工廠	○仕上	吉田	邦一	東	平
未詳	○仕上	矢部	群吉	東	平
同七月金工科卒業(二人)	○仕上	矢部	群吉	東	平
未詳	○仕上	福島	政吉	東	平
明治三十四年三月木工科卒業(三人)	○大工	福島	政吉	東	平
未詳	○大工	中	璋	山	士
生徒(工手學校)	○大工	石川	豐吉	東	平
自營	○指物	石川	豐吉	東	平
同金工科卒業(十人)	○仕上	内山	惣吉	東	平
未詳	○仕上	瀧澤	清次	東	平
鍛冶	○仕上	大久保	每夫	佐	士
未詳	○仕上	石井	八十秀	東	平
富士製紙會社	○仕上	山中	晴雄	茨	士
第八工場	○仕上	栗原	熊五郎	東	平
砲兵工廠	○仕上	河	口久雄	茨	士
精製工場	○仕上	瀧	四郎	東	平
未詳	○仕上	小林	豐三	東	士
習所(京橋)	○仕上	清水	勇次郎	東	平
東京瓦斯會社	○仕上	大野	熊四郎	東	平
生徒(神田)	○仕上	能勢	賴嘉	東	平
錦城中學	○仕上	田	澤重慶	東	士
自營	○仕上	田	澤重慶	東	士
×東京砲兵工廠	○仕上	田	澤重慶	東	士
小銃部	○仕上	田	澤重慶	東	士
同七月木工科卒業(一人)	○大工	中條	銀次郎	東	平
農商務省	○大工	中條	銀次郎	東	平
同金工科卒業(一人)	○大工	大江	官四郎	長	崎
未詳	○大工	大江	官四郎	長	崎
明治三十四年三月板金補習修業(一人)	○大工	松村	昇一	東	平
補習期間一ヶ月	○大工	松村	昇一	東	平
明治三十五年三月木工科卒業(十四人)	○大工	佐々木	綱東	士	
帝國大學建築部	○大工	佐々木	綱東	士	
×手島賞	○大工	新	吉	東	平
×手島賞、牌	○大工	新	吉	東	平

卒業生氏名





生徒並卒業者地方別表

(明治四十一年十一月調)

地方	生徒	卒業者	合計	地方	生徒	卒業者	合計
北海道	二	一	三	埼玉縣	六	一三	一九
東京府	一一三	二九一	四〇四	群馬縣	〇	二	二
京都府	一	一	二	千葉縣	八	八	一六
大阪府	一	一	二	茨城縣	八	一三	二〇
神奈川縣	五	六	一一	栃木縣	二	〇	二
兵庫縣	一	一	二	三重縣	二	二	四
長崎縣	〇	一	一	愛知縣	四	二	六
新潟縣	二	七	九	靜岡縣	五	一四	一九
岐阜縣	〇	一	一	廣島縣	〇	三	三
長野縣	四	九	一三	山口縣	〇	三	三
宮城縣	二	一	三	徳島縣	〇	二	二
福島縣	三	六	九	香川縣	〇	一	一
岩手縣	二	〇	二	高知縣	二	一	三
山形縣	三	一	四	福島縣	〇	二	二
福井縣	一	六	七	大分縣	一	二	三
石川縣	〇	三	三	佐賀縣	〇	二	二

富山縣	一
鳥取縣	〇
合計	一八〇
	四一九
	五九五
滋賀縣	二
鹿兒島縣	三
	〇
	一
	〇
	一

東京高等工業學校附屬工業習補學校一覽  
附設工業教員養成所

目次

一 學年曆	一
一 沿革	一
一 職員	二
第一章 目的、教科目及程度	二
第二章 入學、修業及精勤賞狀	三
第三章 開講教科目及授業要旨	四
一 卒業、修業、修了者現數表	一一
一 卒業、修業、修了者科別人員表	一二
一 卒業、修業、修了者氏名	一三
一 卒業、修業、修了者本籍地方別表	三五
一 附屬工業補習學校主任報告	三六

東京高等工業學校附屬工業補習學校一覽

學年曆

明治四十一年八月一日 第一學期始ル  
 上旬開講科目ヲ定メ生徒募集ヲ廣告ス  
 九月十日 入學願書差出期終ル但シ缺員アルトキハ十月末日迄入學願書ヲ受理ス  
 九月十九日 本日並ニ翌廿一日授業料徴收  
 九月二十二日 第一學期授業開始  
 九月二十四日 休業(秋季皇靈祭)  
 十月十七日 休業(神嘗祭)  
 十月三十一日 缺員入學願書差出期終ル  
 十一月三日 休業(天長節)  
 十一月廿三日 休業(新嘗祭)  
 十二月十五日 本日ヨリ第二學期ヨリノ入學者ノ願書受理  
 十二月廿五日 冬期休業始ル

明治四十一年一月五日 第二學期入學願書差出期終ル但缺員アルトキハ本月末日迄願書ヲ受理ス  
 一月七日 冬期休業終ル  
 一月七日 第一學期終ル  
 一月八日 第二學期始ル  
 一月十一日 第二學期授業料徴收  
 一月十二日 第二學期授業開始  
 一月三十日 休業(孝明天皇祭)  
 一月卅一日 缺員入學願書差出期終ル  
 二月十一日 休業(紀元節)  
 三月十五日 本日ヨリ第三學期ヨリノ入學者ノ願書受理  
 三月廿一日 休業(春季皇靈祭)  
 四月三日 休業(神武天皇祭)  
 四月四日 春期休業始マル  
 四月十日 春期休業終ル  
 四月十日 第二學期終ル

學年曆

明治四十一年四月十一日 第三學期始ル  
 全 四月十一日 第三學期授業料徴收  
 全 四月十二日 第三學期授業開始  
 全 四月三十日 第三學期入學願書差出期終ル但缺員アルトキハ本月末日迄入學願書ヲ受理ス  
 全 五月廿六日 休業（東京高等工業學校紀念日）  
 全 七月八日 修業證書授與式舉行  
 全 七月卅一日 第三學期終ル

東京高等工業學校附屬工業補習學校一覽  
 附設工業教員養成所

沿革

本校ハ去ル明治卅二年五月東京高等工業學校附設工業教員養成所ノ實地授業練習ニ資シ兼テ工業補習教育ノ組織及教育ノ方法ヲ研究センタメ設立セラレ全年五月ニ至リ始メテ授業ヲ開始セリ當時課程ヲ分チテ金工科木工科トシ教科目ヲ修身、國語、算術、理科、圖畫、工具及製作法ト定メ修業年限ヲ二箇年トシ每週教授時數ヲ八時間トシ之ヲ一週三日夜間ニ配當スルコトトシ生徒定員ヲ八十人トセリ

一明治卅五年五月染色法講習會ヲ開催セリ其修業期間ハ十四週トシ一週一回毎夜間二時間授業ヲナシ授業料金五拾錢ヲ徴收セリ

一明治卅五年九月本校規則ノ全部改正ヲ行ヒ其組織ヲ全ク變更セリ今茲ニ其要點ヲ摘記センニ先ツ從來ノ

沿革

學年制ヲ廢止シテ各教科目ヲ獨立ヒシメ凡テ隨意科目トシ生徒タルモノハ何レノ科目タリトモ自己ノ必要トシ望ム所ノ教科目ノミヲ單ニ其時間ニ出席シテ聽講スルコトヲ得セシメ從來實業ニ關スル科目ハ金工具、木工具、製圖等ノ三科目ニ過キサリシヲ増加シテ物理、化學等ノ十六科目トシテ各科目ノ修業期間ヲ教科ノ難易教授事項ノ繁簡ニ應シテ定ムルコトトシ最短期ヲ四週間最長期ヲ一箇年トセリ又從來慈惠的設備トシテ無月謝制ナリシヲ廢シテ教科目ニヨリテハ夫々授業料ヲ徴收スルコト、セリ

一明治卅六年八月一部規則ノ改正ヲ行ヒ各教科目ヲ便宜程度ニ應シ數組ニ分ツコト、シ更ニ電氣科ヲ増設シ修業證明書ノ制ヲ定メ又授業上ノ便ヲ謀リ學期ヲ變更シテ高等工業學校ト一致セシメタリ是レ本校ハ事實ニ於テ高等工業學校ノ夜學部ノ跡ヲナシ學期ノ相違ハ其不便鮮少ナラサレハナリ



明治卅八年八月精勤賞狀ノ制ヲ定メタリ

### 職員

東京高等工業學校校長 手島 精一 千葉士  
 東京高等工業學校教授 附設工業教員 吉武榮之進 東京士  
 東京高等工業學校教授 養成所主事 小林豊造 兵庫士  
 東京高等工業學校教授 附設工業補習學校主任 兵庫士

此他教官ハ別ニ專任ノモノヲ置カス毎學年開講ノ學科目毎ニ便宜東京高等工業學校教官中ヨリ學校長之ヲ選ヒ擔任セシム

### 第一章 目的、教科目及程度

本校ノ目的ハ職工ニ必須ナル知識技能ヲ補習セシメ兼テ工業補習學校ノ組織及教育法ノ研究ニ資スルニ在リテ主トシテ晝間實業ニ從事セル大工、指物師、鍛冶師、機械仕上師、旋盤師、染物屋、織物屋、硝子製造家、電氣業者、印刷工、製版師等其他工業ニ關スル職務ヲ執レル者ニ是等工業ニ必要ナル原理ヲ授ケ又普通教育ノ不足

ヲ補ヒ優良ナル職工ノ養成ヲ努メ一ニハ又工人ヲシテ社會上ノ地位ヲ高メシメントス而シテ授業時間ヲ夜間若クハ土曜日ノ午後トナシ入學手續ヲ簡易ニシ授業料ヲ低廉ニシ各教科目ヲ隨意科目トシ工人ノ志望ニヨリ一科目ニテモ二科目ニテモ習フコトヲ得セシムルト同時ニ成ルヘク簡易ノ方法ヲ以テ適切ナル知識ヲ得セシメンタメ便宜都合ノ許ス限リ東京高等工業學校ノ工場並ニ設備品ニ付キ實地ニ臨ミ講説ヲ受クルコトヲ得セシム之レ特ニ本校ノ便トスル所ニシテ亦來リ學フモノノ利トスル所ナリ此ノ點ニ於テ本校ハ高等工業學校ノ夜學部ト謂フヘキナリ

教科目及程度 教科目ヲ別チテ普通科目、工業科目トシ普通科目ノミヲ聽講スルヲ許サス  
 普通科目ハ修身國語、算術トス  
 工業科目ハ物理化學、實用幾何、自在畫、用器畫、木工材料、木工具及製作法、家屋構造、規矩法、建築製圖、金工

材料、金工具及製作法、機械力學、發動機、機械製圖、電氣、染色法、機械、製造化學、工業圖案トス

此等ノ教科目ハ何レモ隨意科目ニシテ生徒ハ其一科目若クハ二三科目又ハ一部ヲ專修スルコトヲ得ルモノナリ又此等ノ教科目ハ必要ニ應シ初歩普通等ノ二組又ハ數組ニ別チ生徒各自ノ程度ニ應シ甲ノ科ハ初歩ヲ修メ乙ノ科ハ普通程度ヲ修メ得ルモノトナス

以上ノ教科目ハ每學年皆講義ヲ開講スルニアラス每學年ノ始メ學校長右ノ中ヨリ五科目以上ヲ選ヒテ之ヲ定ム而シテ此等ノ教科目ハ假令何レモ工業實地家ニ授クルモノナリトハ言ヘ工業ノ種類ニヨリ比較的高キ程度ヲ要スルモノト然ラサルモノトアリテ一定ノ程度ハ定メ難キヲ以テ毎年八月選定ノ際其授業時數教授細目ヲ定メ生徒募集ノ際之ヲ公示ス

### 第二章 入學、修業及精勤賞狀

第一章 目的、教科目及程度 第二章 入學、修業及精勤賞狀

生徒入學ノ期 ハ各教科目授業開始ノ際之ヲ許可ス尤モ缺員アルトキハ臨時入學ヲ許スコトアルヘシ  
 入學者ノ資格 ハ年齡十歲以上ノ男子ニシテ尋常小學卒業以上ノ學力アルモノタルヘシ然レトモ年齡十五歲以上ノモノハ本文ノ學力ニ依ラス入學セシムルコトアルヘシ  
 入學ノ手續 ハ至テ簡便ニシテ本校所定ノ入學願書用紙ニ族籍氏名生年月職業經歷等ヲ記入シ本校ニ差出サハ可ナリ願書用紙ハ申込次第隨時配與ス又入學ヲ許可セラレタル後ト雖モ別ニ保證人ヲ立ツルニ及ハス  
 修業證書及修業證明書 各教科目ヲ修了シタル上修業證書ヲ受ケントスルモノハ試験ノ上之ヲ授與シ單ニ修業證明書ヲ受ケントスルモノハ其出席數ト勤怠トヲ調査シテ之ヲ授與ス  
 精勤賞狀 本校生徒ニシテ各自撰修スル教科目ヲ始メリ終マテ一日モ缺課スルコトナク修了シタルモノハ一

科目皆勤ノモノハ一科目數科目ノモノハ數科目精勤ノ  
賞狀ヲ授與シ特ニ其勉勵ヲ賞ス

第三章 開講教科目及授業要旨  
至明治四十二年九月開講科目每週教授時數講師等

教科目	第一學期 時間	第一學期 割	第二學期 時間	第二學期 割	第三學期 時間	第三學期 割	每週 時間	講師氏名
修身講話	水曜日	自午後七時 至午後八時	一	水曜日	自午後六時 至午後七時	一	一	東京高等工業學校教授 小林豐造
國語(初歩)	水曜日	自午後七時 至午後八時	二	水曜日	自午後七時 至午後八時	二	二	東京高等工業學校教授 村上通
算術(初歩)	木曜日	自午後六時 至午後七時	二	木曜日	自午後六時 至午後七時	二	二	東京高等工業學校教授 村孝正
算術(初歩)	木曜日	自午後六時 至午後七時	二	木曜日	自午後六時 至午後七時	二	二	東京高等工業學校教授 岸光憲
全(普通乙)	月曜日	自午後六時 至午後七時	二	月曜日	自午後六時 至午後七時	二	二	東京高等工業學校教授 宇野三郎
全(普通甲)	月曜日	自午後六時 至午後七時	二	月曜日	自午後六時 至午後七時	二	二	東京高等工業學校教授 笠原留七
物理講話	水曜日	自午後七時 至午後八時	一	水曜日	自午後七時 至午後八時	一	一	東京高等工業學校教授 野田市三郎
化學全	火曜日	自午後七時 至午後八時	一	火曜日	自午後七時 至午後八時	一	一	東京高等工業學校教授 金子助次郎
實用幾何	金曜日	自午後六時 至午後七時	一	金曜日	自午後六時 至午後七時	一	一	東京高等工業學校教授 馬杉肇
代數(初歩)	月曜日	自午後七時 至午後八時	二	月曜日	自午後七時 至午後八時	二	二	東京高等工業學校教授 橋節男
建築用材料	火曜日	自午後七時 至午後八時	一	火曜日	自午後七時 至午後八時	一	一	東京高等工業學校教授 河津七郎
建築仕樣計算	月曜日	自午後七時 至午後八時	一	月曜日	自午後七時 至午後八時	一	一	東京高等工業學校教授 關口八重吉
機械製作法	火曜日	自午後七時 至午後八時	一	火曜日	自午後七時 至午後八時	一	一	東京高等工業學校教授 田島義造

教科目	第一學期 時間	第一學期 割	第二學期 時間	第二學期 割	第三學期 時間	第三學期 割	每週 時間	講師氏名
蒸汽機械及汽罐	水曜日	自午後七時 至午後八時	一	水曜日	自午後七時 至午後八時	一	一	齊藤孝
瓦斯エンジン	水曜日	自午後七時 至午後八時	一	水曜日	自午後七時 至午後八時	一	一	淺川權八
工業用材料及試驗法	火曜日	自午後七時 至午後八時	一	火曜日	自午後七時 至午後八時	一	一	關口八重吉
實用機械學	木曜日	自午後七時 至午後八時	一	木曜日	自午後七時 至午後八時	一	一	河合匡
機械製圖(初歩)	月曜日	自午後六時 至午後七時	三	月曜日	自午後六時 至午後七時	三	三	岡本勝三
全(普通)	金曜日	自午後六時 至午後七時	三	金曜日	自午後六時 至午後七時	三	三	中原本榮
電氣應用一班	水曜日	自午後七時 至午後八時	二	水曜日	自午後七時 至午後八時	二	二	榎田護臣
家屋構造	水曜日	自午後七時 至午後八時	二	水曜日	自午後七時 至午後八時	二	二	前田松韻
規矩法	火曜日	自午後九時 至午後十時	一	火曜日	自午後九時 至午後十時	一	一	齋藤兵次郎
破風物構造	火曜日	自午後九時 至午後十時	一	火曜日	自午後九時 至午後十時	一	一	全
測量法	火曜日	自午後九時 至午後十時	一	火曜日	自午後九時 至午後十時	一	一	橋節男
衛生建築大意	月曜日	自午後八時 至午後九時	一	月曜日	自午後八時 至午後九時	一	一	滋賀重列
建築製圖(初歩)	木曜日	自午後七時 至午後八時	二	木曜日	自午後七時 至午後八時	二	二	木檜一
全(普通)	金曜日	自午後七時 至午後八時	二	金曜日	自午後七時 至午後八時	二	二	清員水德松
圖案法	金曜日	自午後七時 至午後八時	一	金曜日	自午後七時 至午後八時	一	一	安田祿造

自在書	火曜日 (自午七時 至九時)	三	第一學期二同シ	三	火曜日 (自午七時 至九時)	三	全
圖案實修	金曜日 (自午七時 至九時)	三	第一學期二同シ	二	木曜日 (自午七時 至九時)	二	全
寫真及製版法							全
製革術及其應用							全
鍍金及電鍍							全
西洋家具							全
講 話 會	每月十五日開催(七、八、九月無シ)						未
英 語	課程外ニ修工會有志ノ企ニテ英語講習アリ本校修業者モ入會スルヲ得						未

授業料

一科目乃至三科目 壹圓  
四科目以上 壹圓五十錢

各教科目教授要旨

●修身講話 (第一、二、三學期)

社會ノ事情ニ通セシメ是ニ適應スルノ道ヲ知ラシメ兼テ古今ノ人物ヲ紹介シ誠實勤勉ノ氣質ヲ修養スルノ資トセシム  
本科ヲ聽講セサルモノニハ精勵實狀ヲ授與セス

●國語 (全上)

程度ヲ初歩普通ニ分チ左ノ教科書ヲ用ヒ日用文字ノ讀法解義ヲ授ク  
初歩ノ組 大帝國讀本 前編  
普通ノ組 大帝國讀本 續編  
●算術 (全上)  
(初歩)加減乘除ヨリ始メ凡テ四則應用諸等數分數小數迄トシ專ラ工業上ノ應用ニ必要ナル部分ヲ授ク  
(普通)分數小數ヨリ始メ比例百分算開平開立迄トス

●建築仕樣計算 (第一、二學期)

根切積リ方仕樣計算、足場積リ方仕樣計算、煉瓦積リ方仕樣計算、石材積リ方仕樣計算、木材積リ方仕樣計算、屋根材層根積リ方仕樣計算、猶時宜ニヨリテハ壁、塗料等ノ仕樣計算ヲ教フ

●物理講話 (第一、二、三學期)

第一學期 尺度、カリバー、樹、挺子、秤、物體ノ硬軟及強弱、彈性、滑車、斜面、楔、螺旋、水準器、水壓器、比重計、各種浮秤、晴雨計、氣象、壓力計、輕氣球、排氣機、サイフォン、水ポンプ、水車、霧吹及ヒ其理ヲ應用シタル器械、寒暖計、物體ノ膨脹、熱氣、熱ノ放散、濕度計、蒸汽機械、

第二學期 磁石、磨軋雷氣、ウイシムヤスト發電機、雷、避雷針、電池、電流計、電磁石、電鈴、電信機、電話、無線電話、發電機、電氣燈、電動機、樂器、蓄音機、

第三學期 平面鏡、球面鏡、レンズ、幻燈器械、寫真器械、望遠鏡、顯微鏡、  
天球、地球、曆、動植物ノ一般

●化學講話 (第一、二學期)

物質ノ變化ト化學、化學ノ人生ニ對スル必要、空氣ト呼吸及ヒ燃燒、マウチト燐ノ種類及ヒ性質、燐ノ所在及ヒ過燐酸石灰、窒素及ヒ其化合物ノ用途、アンモニヤ、硝酸、硝石、火藥、水ノ所在及ヒ人生トノ關係、天然水、飲料水、礦泉、硬水ト軟水、硬水ノ害及ヒ軟水トナス法、蒸餾

各教科目教授要旨

水、食鹽ノ製法及ヒ用途、鹽酸、王水、漂白粉、苛性曹達、洗濯曹達、曹達灰、硫酸ノ所在及ヒ用途、亞硫酸、硫酸、次亞硫酸並其鹽類ノ用途、石灰石及ヒ粘土ノ用途、石灰、漆喰、モルタル、セメント、明礬、陶磁器、瓦、煉瓦、ガラス、群青、金、銀、銅、鐵、錫等主ナル金屬ノ性質及ヒ用途寫真術、鍍金、電鍍、合金類、炭素ノ所在及ヒ効用、金剛石、石墨、炭、木材乾留及ヒ其副生物、木炭、木瓦斯、木精、フォルマリン、醋酸及其化合物、石油ノ精製及ヒ其副生物、揮發油、燈油、機械油、石蠟脂肪及ヒ油類、石鹼、ケリスリン、ニトログリセリン、乾性及不乾性油、ペンキ、樹脂及ヒゴム類、ニス、纖維、澱粉、砂糖類、紙、セルロイド、人造絹糸、無煙火藥、酒、醬油、味噌等、石灰瓦斯並コークス、石炭乾留副生物ノ利用、ベンゼン、アニリン染料、石炭酸、ピクリン酸、サリチル酸、ナフタリン、天然藍及ヒ人造藍、アンスタセン、アリザリ、染料、  
單寧及ヒ鞣皮術、

●實用幾何 (第一、二、三學期)

主トシテ作圖ニ依リ工業上必要ナル初等幾何等ノ原理ヲ授ク

●代數 (全上)

(初歩)符號說明加減乘除ヨリ初メ一次方程式迄  
(普通)因子分解法、分數ヨリ二次方程式迄  
●建築材料 (第一、二學期)  
セメント、モルタル並コンクリートノ調合強サ、セメントノ試驗

煉瓦、石材、種類性質用途強サ、木材主ナル建築材杉檜樟樺等ノ特質強サ

緊緻物 ホールト、巻鐵ノ強サ

家根葎材料、スレート、瓦、駄板、亜鉛板等ノ性質用途、

●工業用材料及試験法

工業用材料ノ最モ主要ナルモノ即鐵、銅合金、木材、機械油、石炭等ノ性質並ニ試験法ヲ授ク

●實用機械學 (第一、二、三學期)

第一學期 力、仕事、重心、摩擦、斜面、力ノ平行方形、槓杆、圓運動、齒輪、調車、エネルギー等

第二學期 材料強弱

第三學期 カラクリ及水力學

●機械製作法 (第一、二學期)

(第一學期) 刃物鋼燒入法

刃物鋼ノ性質 燒入ニ關スル理論、燒入法ノ實驗等ヲ授ク (第二學期) 工具及工作順序

尺度、キヤリバー、マイクローメーター、リマー、マンドレル、ナット

アーバー直角定規、直角定規試驗器、トースカン、パスインチケーター等及ヒ旋盤ニテ螺子ヲ切ル方法及順序

●蒸氣機械及汽罐 (第二、三學期)

本科ノ講義ニ於テハ高尚ナル理論ヲ避ケ可成平易簡明ニ蒸氣機械汽罐ノ

原理、構造及取扱法ヲ説明スヘシ然トモ聽講者ハ比較的學力アルヲ可トシ特ニ數學物理製圖ノ知識ハ必要ナレハ本科ト共ニ此レ等ノ科目ヲ兼修スルヲヨロシトス教授ノ要目左ノ如シ

熱、熱ト仕事トノ關係、馬力(圖示馬力實効馬力名稱馬力)、馬力計算法

蒸汽、蒸汽ノ壓力ト容積トノ關係、蒸汽ヲ膨脹的ニ使用スルノ利益ナル

コト、不凝結汽機關、凝結汽機關汽機關ノ附屬品、機關馬力測定法、汽機關取扱ニ關スル注意、汽罐用各種ノ燃料、各種汽罐、汽罐附屬品、汽罐取扱ニ關スル注意

●機械製圖 (第一、二、三學期)

(初歩) 講義 總論、製圖器具ノ名稱ト撰定法製圖器具使用法、數字及英字ノ書

法、線ノ引き方、

平面圖法、角度ノ事 平行線、垂線、直線ヲ等分スル事、圓周ヲ等分スル事、圓ノ接線共通接線ト接圓、

正方形正五六十角形、橢圓、卵形、擺線、インポリート、對數渦線、立體畫法 界線水平及ロ垂直投影面、平面圖、垂直圖、側面圖、錐體、柱體、球ノ投影圖、切斷面ト其眞形、交截線ト展延圖、

トレーシング 法則ト注意

製圖用日光寫眞青寫眞 青寫眞照像寫眞及ヒ青寫眞ノ説明、藥品調合

ト取扱法、機械ノヒース捻子ホールト、ナット、リベット、ピン、キー等ノ種類ト

番法及寸法ノ割合、

機械製圖法 (ル)着色ヲナシテ材料ヲ區別スル機械圖法(b)着色ヲナサ

ス斷面線ヲ使用シテ區別スル機械圖法コッヒー、尺度割合ノ事

見取 方法及注意

機械ノ稍々複雑ナル部分例ヘハ調車齒車等ノ説明演習圖總論及平面畫法

平面畫法、切斷面ト其眞形、交截線ト展延圖、調車ノ「トレーシング」、

捻子、ホールト、ナット、リベット、ピン及ヒキーノコッヒー、

(普通)

講義及演習圖

(一)材料ノ強サト重サ、(二)回轉數ト速度、(三)設計上注意ヲ要スル事項、(四)調車、(五)齒車、(六)軸受、(七)軸接手、(八)銲接手、等ノ設計製圖

●瓦斯及石油エンジン (第一學期)

(一)瓦斯エンジン循環動作、(二)空氣ノ石炭瓦斯及ヒ兩者混合瓦斯著火

爆發ニ付テ、(三)瓦斯エンジン構造、(四)瓦斯エンジン据附法、(五)運

轉規則及ヒ取扱ヒ注意、(六)瓦斯エンジンニ付キ運轉上ノ諸障害ニ關スル研究ト其ノ救濟、(七)石油エンジン循環動作、(八)石油エンジン構造

(九)石油エンジン運轉法、(十)サクシヨン瓦斯エンジン、(十一)動力及

ヒ其ノ費用、(十二)瓦斯、石油エンジンニ關スル歴史

●電氣應用一斑 (第一、二、三學期)

本科ノ聽講者ハ代數智識アルヲ要ス

第一學期 電流ノ基本法則及電流ト磁氣トノ關係ヲ明カニシ次ニ發電機

ニ入りテ其原理、構造、分類作用取扱法ヲ講授シ終リニ蓄電池ノ構造取

扱法ノ大要ヲ授ク

第二學期 白熱電燈弧光燈構造、作用、及配電法ヲ講シ尙交流機變壓器及

交流配電法ノ一斑ヲ授ク

第三學期 電動機ノ一般ヲ授ケ電氣鐵道ニ入り電車及附屬品構造及車内

ノ配線法ヲ説明シ續テ電車線及軌道建設ノ大要ヲ講授ス

●鍍金法 (第三學期)

本科ニ於テハ先ツ術語ノ解釋鍍金ニ關スル諸規則ヨリ各種ノ電池及發電

機ノ大要ヲ説明シソレヨリ鍍金槽ノ構造、鍍金物品ノ清淨及研磨法、鍍

銅法、鍍銀法、鍍黃金法、鍍白金法、鍍ニッケル法、鍍鐵法、鍍亞鉛法

鍍錫法、合金鍍金法、着色法、廢液處理法等ヲ授ケ次ニ電鍍術ノ概要ヲ

授ク

●破風造リ物構造並仕口 (第三學期)

木材ノ使用法、材角挽立方、各摺手ノ長及各部ノ割出寸法並ニ各部仕口

普通住家ノ木割及建地割、小屋組木材使用法及其注意、天井床棚ノ仕方

上等家屋各部木割及建地割入母屋造リ、起リ破風、千鳥破風、唐破風、軒

唐破風、スガル破風等ノ割合及仕掛方、土藏ノ構造、水盛、造形、地形

●家屋構造 (第一、二、三學期)

(一)各種地形ノ法、煉瓦積方、(二)石積方、木材乾燥方、繼手、床、壁

柱等構造、(三)小屋組各部構造、(四)木造及鐵小屋組ノ構造、(五)窓戶

階段等ノ構造、耐火構造、換氣排水等家屋ノ衛生的設備

● 規矩法 (第一、二學期)

(一) 矩使法、角割、勾股弦、四方コロピ、漏斗形、多邊形物、棒槌、小屋火打貫指シ方、接レ巻、合掌小屋、一ト軒、二ト軒、廻リ階段、圓小屋造リ方

(二) 神社建築、鳥居ノ割、一間社流レ作リ法、神明作リ法

● 測量法 (第三學期)

平面測量、高低測量、地坪計算法等ニツキ簡短ナル測量方法及複雜ナル測量器械ニヨリテ測定スル方法ヲ授ク

● 建築製圖 (第一、二、三學期)

(初歩)

本科ニ於テハ未ダ製圖ノ素養ナキモノニシテ建築製圖ヲ學バントスルモノナシテ入學セシメ第一學期及第二學期前半期ニ於テハ、主トシテ建築製圖ニ進ム階段トシテ必要ナル幾何畫法及投象畫法等ノ用器畫法ヲ授ケ旁ヲ製圖機械器具ノ取扱方ニ習熟セシメ第二學期後半期及第三學期ニ於テハ和風家屋各部詳細圖ヨリ進ンテ住宅平面圖、地形圖、姿圖、切斷圖、床伏圖小屋伏圖、及矩計圖等ヲ授ク

(普通)

本科ニ於テハ既ニ前年本校ニ於テ初歩ヲ修メタルモノ又ハ之ト同等ノ學力アルモノノミチ入學セシメ第一學期及第二學期ニ於テハ洋風建築ニ關スル煉瓦積、煉瓦及石積迫持、階上床組、各種小屋組、窓、入口、階段、

暖爐等ノ各部詳細圖及木造並ニ煉瓦造ニ於ケル矩計圖ヨリ進テ三十坪内外ノ洋風住宅平面圖、姿圖、切斷圖、等ヲ授ク第三學期ニ於テハ樹組及虹梁起リ破風玄關、入母屋作リ破風屋根、千鳥破風屋根、唐破風屋根等ノ製圖ヲ授ク

● 衛生建築大意 (第三學期)

(一) 換氣法 換氣法ノ目的、空氣ノ成分、室ノ内外ニ於ケル空氣運動ノ方法、炭酸瓦斯、空氣中ニ炭酸瓦斯ノ割合、換氣ト室ノ大サトノ關係、採氣孔、排氣孔、

(二) 採温法 採温ノ目的、採温ノ方法、暖爐、置「ストーブ」瓦斯、石油、温氣採温、熱湯採温、蒸氣採温、

(三) 排水法、排水ノ目的、材料、繼キ手、「パイプ」ノ推氣、「パイプ」ノ大サ、トラツプ「パイプ」ノ勾配、

(四) 採光法 採光ノ目的、光線ノ性質、太陽ノ光線、光線ヲ補助スル方法、人工採光法、窓ノ大サ、窓ノ位置、窓硝子、

● 圖按法 (第一、二、三學期)

第一學期第二學期ニ於テハ一般圖案法ノ要義トシテ美觀構成ニ關スル諸原則ヨリ線面ノ美觀上ノ價值自然資料ノ研究ニ及ヒ更ニ資料硬化法ト圖案作法ヲ説キ平面圖按ヨリ立面圖按ノ大要ヲ授ク

第三學期 應用圖按法平面及立體ノ二者ニ分チ前者ニ於テハ織物、染物製版等ノ圖按法又後者ニアリテハ陶磁器、七寶、金屬、漆器、家具、室内裝飾等ノ圖按法ヲ授ケ其形狀、裝飾、配色等ノ大要ヲ知ラシム

● 自在畫 (第一、二、三學期)

鉛筆畫ヲシテ形體模倣等ヲ正シク畫クコトヲ勉メ手指ノ練習ヲ主トシテ兼テ形體ノ美ヲ觀セシム

● 圖案實習 (全上)

平面模倣ノ初歩ヨリ始メ其ノ構造及其變化ニ付キテ説示シ逐次實地ニ執筆描畫セシメ漸次定形器體ニ應用シテ立案描寫セシム

● 寫眞及製版法 (第一、二學期)

本科ニ於テハ寫眞及製版ニ關スル學理ト實地トヲ併セ教授スルモノニシテ必要ニ應シ東京高等工業學校ノ寫眞及製版工場ニ於テ實驗セシムルコトアリ而シテ其教授要項ハ左ノ如シ

寫眞 主トシテ製版用寫眞術ヲ授クルモノニシテ器械及材料ノ撰擇乾板法及濕版法ニ依リ諸製版ニ適應スル原板ノ製法及各種印畫法

製版 (一) 石版及寫眞石版 (二) コロタイプ (三) 網目版及三色版 (四) 寫眞彫刻版ノ四トシ必要ニ應シ毎年其一ヲ撰定シ教授スルモノトス

(一) 石版及寫眞石版 平版ニ係ル器具及材料ノ選擇、石板、亞鉛板、アルミニウム板、其他ノ版材上ニ線式及噴濺式圖畫ヲ轉寫及直描ニ依リ製版印刷スル法、及是等各版ニ寫眞術ヲ應用スル製版法

(二) コロタイプ 器械及材料ノ撰擇、硝子、亞鉛、アルミニウム板其他ノ物料上ニコロタイプ製版、紙及其他ノ物料上ニ印刷スル法、陶磁器織物其他ノ物料ニ應用スルコト

(三) 網目版及三色版 工場ノ設計及設備、乾板及濕板ニ依ル網目原板ノ製法、コロサオン乳劑ノ製法及使用法、熱法、及冷法ニ係ル銅、亞

鉛、眞鍮及其他ノ材料ヲ以テ製版及印刷スル法

(四) 寫眞彫刻版術 寫眞原板ヲ以テ金屬其他ノ材料ニテ凹若クハ凸ニ屬スル各種製版法ヲ授クルモノニシテホトグラビクル、ホトブラスチック、膠凸版ヒヤログラヒー、水銀版及寫眞ト電氣ヲ應用スル諸製版法

● 製革術及其應用 (第二、三學期)

原皮ノ種類及貯藏法、脫毛法、洗滌法、鞣法、革ノ染色法等一般製革業者ニ必要ナル事項ヲ授ク

卒業、修業、修了者現數表

(明治四十一年十一月一日調)

卒業	生	五一	舊規程ノ分
修業	生	一七八	改正規程ノ分
修了	生	八八	改正規程ノ分
計		一、三一六	

卒業、修業、修了者科別人員表

(明治四十一年十一月一日調)

卒業、修業、修了者現數表

機械製圖	衛生建築大意	規矩法	破風造物構造	建築用材料	家屋構造	建築製圖	用器畫	理化講話	物理解	代數	實用幾何	建築仕樣計算	工場計算	算術	修身國語	金工科	木工科	計
一七	三〇	一八	一三	七八	二〇	二五	六九	四九	八四	四一	九〇	六四	五七	二五	一〇	二五	二六	一八
四	〇	一	五	二	二	一	四	一	二	五	五	五	三	一	一	一	一	一
一八一	三〇	一八	一三七	八〇	二二	二六	七〇	五三	八九	四六	九五	六九	六〇	二六	一一	二五	二六	一八
石鹼及香料	製版	圖案實修	染織要綱	機織法	色染	電氣	製革術及其應用	鍍金法	板金工作法	發動機	機械仕上	蒸氣機械及汽罐	瓦斯エンジン	機械設計大意	材料強弱	機械用材料	機械力學	機械製圖講義
一〇	五七	一〇	五一	二一	二八	五一	九	六三	四	五九	一二	二四	八五	一七	六〇	三七	四六	一四
〇	七	〇	〇	一	一三	九	〇	五	〇	五	〇	二	一	一	〇	一	一	五
一〇	六四	一〇	五一	二二	四一	六〇	九	六八	四	一二	二六	八六	一八	六三	三七	二五	四七	一九

卒業、修業、修了者

卒業生ノ職業ハ在學當時ノモノ、〇印ハ職  
 工合格證明書受領者ヲ示ス、修業生修了生  
 ノ部修ハ修身國ノ國語、算ハ算術幾ノ實用  
 幾何、工計ハ工場用計算、仕計ハ建築仕樣  
 計算、代ハ代數、物ハ物理、化ハ化學、理  
 講ハ理化講話、用ハ用器畫、建圖ハ建築製  
 圖、家構ハ家屋構造、建材ハ建築用材料、  
 破風ハ破風造物構造、規ハ規矩法、機圖ハ  
 機械製圖、圖講ハ機械製圖講義、機力ハ機  
 械力學、機設ハ機械設計大意、蒸ハ蒸汽機  
 械及汽罐、瓦ハ瓦斯エンジン、機材ハ機械  
 用材料、機作ハ機械製作法、機仕ハ機械仕  
 上、發ハ發動機、板金ハ板金工作法、鍍ハ  
 鍍金法、電ハ電氣、染ハ色染、織ハ機織法  
 家具ハ家具工作法、着塗ハ着色及塗料、自  
 ハ自在齒、圖案ハ工業圖案、圖ハ圖案法、  
 圖實ハ圖案實修、寫ハ寫眞、版ハ製版、測  
 ハ測量機械使用法ヲ示ス

明治三十四年三月木工科卒業(四名)

大工 稻村久三郎 東平  
 木工 井原虎三郎 新平  
 木工 小泉久作 靜平  
 同 杉山美壽造 山平

明治三十五年三月木工科卒業(十一名)

木型職 山田松太郎 岩平  
 小銕工 不破光雄 東士  
 金工業 小池重吉 東平  
 金工業 市村仙四郎 茨平  
 同 飯吉磯吉 東平  
 同 岡田留吉 三平  
 木工 加藤正作 東平  
 同 片桐丑太郎 新平  
 同 高瀬量輔 東平  
 同 井上信太郎 神平  
 建築業 大工 小林彦太郎 新平  
 同 小出保之助 同  
 同 湯本榮太郎 東平  
 同 柴田菊太郎 愛知

卒業、修業、修了者科別人員表









算(初)、家具、建圖(初)	高梨松次郎 東平	板金、鍍	吉田重義 群平	規	古川文次 千平
機作、機圖(初)、機力	根岸誠一 崎平	同、同	谷井誠 東平	機作	保々熊藏 群平
家具、家構、規	中山寅太郎 東平	同、同	古木三治 鹿平	同	田中良次 新平
機材、機力、鍍	中里柳次郎 同	圖案、算(普)	内田徳次郎 東士	同	武内赤太郎 東平
機作、機圖(初)、電	福田市太郎 茨平	機圖(初)、電	藤倉牛之助 福島	同	武内實 富城
家具、着塗、鍍	小林仙太郎 東平	自、算(初)	小林國太郎 神平	同	師田健吉 長野
算(初)、家具、規	佐野元吉 同	機圖(初)、機材	近藤宗吉 東平	同	麻生輝 千平
家具、規、建圖(普)	岸勇吉 群平	理講、建材	宮本正吉 香平	同	江澤惣吉 同
機作、自、機材	柴田鶴三郎 茨平	理講、自	三島乙松 東平	同	長島久一 同
算(普)、機圖(普)、幾	鈴木正雄 東平	自、機作	柴田壽治 茨平	建材	大久保市藏 茨平
機圖(普)、圖案、機力	杉山壽榮男 東士	家構、建圖(普)	日吉政一 愛知	同	高橋石松 東平
算(初)、機圖(初)、機材	北島儀六 佐平	機、機力	鈴木猛 東平	同	森清松 新平
國(初)、算(初)	飯塚清 東平	家具	石井徳太郎 同	同	篠原亥六 東平
幾、機作	細川久三 岡士	家構	石川陽吉 岩平	同	松谷正義 同
家構、建圖(初)	太田清香士 自	自	原田縫 東平	同	松田梅吉 靜平
寫、版	若松安次郎 東平	同	井楯晋 同	同	栗原龜榮 東士
同、同	高田平三郎 同	同	土岐義長 同	建圖(初)	岡田國藏 靜平
同、同	慶野慶太郎 同	機圖(普)	保科幸次郎 同	同	關口俊 東士
同、同	櫻井知道 東士	同	鈴木精一 同	同	新井元三 東平
同、同	柴田長次郎 東平	規	保刈鹿造 新平	同	中村高次郎 神士
家具、着塗	神尾留五郎 同	同	高梨治助 東平	同	渡邊藤吉 千平

(建圖)初	松田新次郎 三平	電、機作	磯部嘉一 神平	機圖(初)、機仕	今野儀之助 宮城
寫	等原彦二 東平	寫、版	池田保榮 靜士	發、代、圖案、理講	石井二 青平
同	阿部亨正 宮平	同、同	太田文次郎 三平	幾、代、測	岩城長次郎 兵平
同	高野慶藏 東平	同、同	金澤太助 東平	發、機圖(普)、工計、圖講、理講、鍍	服部五郎 福岡
同	椿重也 東士	電	勝田金次郎 同	自	原久太郎 東平
同	宮川留太郎 宮城	寫	大竹忠綱 群平	版	濱野榮 東士
板金	中村鹿三 三平	同	松谷傳次郎 岡平	機圖(初)	端山莊三郎 福岡
建圖(普)	中山啓之助 東平	同	近藤朝之助 東平	發、機圖(初)、工計、幾、理講、算(普)	原口市左衛門 培平
幾	山田貞造 東士	同	竹越誠太郎 東士	鍍	長谷川兼三郎 茨平
染	松本勝太郎 東平	寫、版	小添鏡二 東平	機圖(初)、工計、理講、算(普)、鍍	長谷川源太郎 東士
同	北村勝太郎 同	家具	子安信二 同	機圖(初)	服部金平 靜平
同	宮崎次郎吉 同	建圖(初)	保刈鹿造 新平	發、機圖(初)	旗瀨一司 東平
同	牧田正躬 鳥平	染	川崎徳平 千平	規、工作、建圖(初)、家構	西村良助 神平
同	平尾恒吉 東平	同	宮本三吉 同	規、家構、家具、測	西村泰次郎 愛知
同	荒木吉之助 同	同	石川猪四郎 新士	建圖(初)、家構	並澤重吉 新平
算(初)	平田常吉 同	發、機圖(初)、機仕、工計、圖講、幾、代、算(普)、理講	石川陽吉 岩平	國(普)	本多龍太郎 同
算(初)	柴田龜太郎 茨平	鍍、家具	石井匡 新平	池	堀澤義治 同
機材	明治三十八年七月修了(十七名)	機圖(初)	飯塚清 東平	國(普)	星野與吉 同
機作、機圖(普)、機力、鍍、電機材	末岡清松 東平	理講、算(初)、國(普)	飯富吉之助 茨平	機圖(初)、算(普)	堀田榮太郎 岐平
機作、圖案、理講、算(初)	浪米次郎 和乎	鍍	市村正 佐士	家具	戸田廣忠 大版
家構、自、算(普)、建材、家具	青井幸次郎 滋平	版			戸井清太郎 東平

卒業、修業、修了者

規、工作、建圖(普)、家構	外山喜市 同	規、家構、建圖(初)	吉田喜代次 平福島	代	田中維一 耶 同
規	遠山靜松 福島	家具	吉川太作 石平	機圖(初)、自、理講、國(普)	瀧澤 榮 東平
機仕	富田 猛 大分	建圖(普)	吉井末吉 東平	理講、算(初)	田村松三 同
家構、建圖(初)	徳田哲四郎 新士	規	四方徳太郎 同	規、工作、家構、建圖(普)	土屋清助 長野
測	渡邊祐三郎 栃平	家構	横田榮一 同	機圖(初)	津川嘉三郎 東平
測、家構、建圖(初)	渡邊徳之助 東平	建圖(初)	横山清次郎 同	規、工作、建圖(普)、家構	辻 兼松 岐阜
建圖(普)	渡邊藤吉 千平	工作	吉田大次郎 同	理講、鍍	根本柳次郎 茨平
發、機圖(初)、圖講、工計、算(普)	渡邊善太郎 東平	同、算(初)	吉田小三郎 同	機圖(初)、算(普)、理講、鍍	中村富三郎 東平
工計、版、代、圖案、理講、算(普)	若松安次郎 同	算(普)	田中康太郎 同	機圖(初)、理講	中村芳之助 同
規、建圖(初)	渡邊三四郎 靜平	發、機圖(普)、工計、圖講、鍍	田中金三郎 大阪	家具	中村乙吉 石平
規、建圖(初)、家構、理講	渡邊金五郎 東平	圖案	田中繁藏 島平	鍍	長嶺鷲郎 岩士
算(初)	川原京太 大分	版	田尻徳太郎 東平	算(初)、國(普)、理講	中川新造 東平
發、機圖(初)、機仕、工計、圖講、代、理講、算(普)	河野 鈞 東士	建圖(普)	高梨松次郎 同	規、家構	中山寅太郎 同
發、機圖(初)、機仕	加納榮之助 同	建圖(初)	高木三二 同	理講、代、鍍	中里柳次郎 同
建圖(初)、自	貝谷清七郎 新平	建圖(初)、家構	竹内音三郎 同	家具	内藤留藏 新平
鍍	河上國雄 東士	規	谷平利三郎 福島	家具、建圖(普)、家構、工作、	永井定吉 東士
自	加藤正作 東平	發、工計、幾、代、算(普)	田中廉次郎 兵士	規、工作、建圖(初)	内藤末松 愛知
發、機圖(初)、機仕、理講	川上吉水 長野	機仕、機圖(普)、工計、圖講	田中一 耶 東平	規	中村庄五郎 群平
規、工作、建圖(初)	柏木信次郎 新平	幾、代、理講、算(普)	館山宇三郎 秋平	同	中根濱吉 茨平
理講	鎌田鎌治 宮城	建圖(初)	田中善一 東平	算(普)	村田國二 東平
家具、算(初)	吉田元治郎 東平	規、幾、建圖(初)、家構、測	龍野右忠 長野	機圖(普)	村上長吉 同

測	村井勘六 岩平	工計、幾、代、算(普)	山田貞造 東士	家具	小池忠藏 長野
測	村井徳造 東平	機圖(初)	山口重士 福非	理講	小宮鶴三郎 東平
理講、規、工作、建圖(普)、	上原芳五郎 同	機圖(初)、機仕、理講、算	山 時 衛 東士	發、鍍	近藤正太郎 同
自、家具	梅津民吉 山形	規、建圖(初)	山田由太郎 東平	測	小林長介 福島
家構、建圖(普)、算(普)	上島美代松 富平	測、理講	松永興四郎 新平	發	照井久太郎 青平
家構	井口繁藏 東平	機圖、初	牧野常太郎 愛知	算(初)	傳田彌兵衛 東平
工作、建圖(普)	井 裕 晉 東士	代、理講、算(普)	前田熊吉 鹿平	規、建圖(初)、家構、測、家	荒木吉之助 同
理講、算(普)	野尻源次郎 新平	規、家構、算(初)	松田新次郎 三平	算(普)	明智徳太郎 同
算(普)	大江吉五郎 東平	幾、機圖(初)、工計、圖講、	松 枝 登 宮城	規、工作	阿久津善太郎 栃平
機圖(初)	大島保成 富平	幾、算(普)	牧野留吉 東平	版	財津義秀 東平
同	大河内三吉 靜平	家具	増子保造 福島	版	佐藤綱太 同
家具	奥田庄藏 東平	圖案	松原重次郎 東平	規、家構、測、家具、建圖	三條政久 山形
同	大山幸助 同	機圖(初)	増 川 淳 秋士	(普)規、建圖(初)、家構、	齋藤 柳 東士
鍍、理講	太田 勉 東士	版、幾、理講	古箭忠太 長野	工計、規、建圖(初)、家構、	佐野元吉 東平
版	大谷周助 福島	版、鍍	船山興三吉 富平	家具、算(普)、鍍	佐々木長四郎 岩平
規、工作、家構、建圖(初)	大橋佐平 東平	家具	福島一 耶 埼平	規、工作、家構、建圖(初)	定政貞吉 福井
建圖(初)、規	大澤憲一 群平	算(初)	藤田環次郎 東平	機圖(普)、工計、圖講、幾、	佐藤萬三郎 宮城
幾	日下部半兵衛 福島	規	小林仙太郎 同	代、理講、鍍	阪井豊次郎 靜平
家具	日下正雄 同	自、家具、國(普)、算(普)	小林國太郎 同	工作、家構	佐久間清作 埼平
同	久野藤平 靜平	機圖(初)、機仕、幾、理講、	後藤基次 同	代、理講	坂本鏑二 東平
同	國本六藏 山口	算(普)	小松義太郎 同	發、工計、圖講、代、理講、	佐藤孝太郎 福岡
發、機圖(初)、工計、圖講、		建圖(初)、家具		算(普)	



機作、算(普)機材、瓦 機圖(普)	田中惟一郎 長野平	規、建材、自 機作	都築松太郎 埼玉平	規	内海泰次 東平
化、規、家構、仕計、幾、物、破	田中康太郎 東平	機作、算(普)瓦 算(普)規、家構、仕計、建 材、自、幾、物、建圖(初)破	鶴卷又五郎 福島平	瓦	宇津東助 同
瓦	田井勇 東平	機作、機設、寫、機圖(初)	中村富三郎 東平	家構、國(普)	馬上松吉 福島平
寫、版	田部井榮次郎 群平	機作、機設、寫、機圖(初)	中村朝太郎 福岡平	蒸	植原源吉 兵平
算(普)物	田尻德太郎 東平	機作、機設、寫、機圖(初)	中村守直 東平	寫	野出剛 福岡平
瓦	田口礎平 靜平	機作、機設、寫、機圖(初)	中村喜一郎 岩平	算(初)	野口貞次 埼玉平
電、鏡	田村松三 東平	機作、機設、寫、機圖(初)	中川成二 新士	算(初)	野澤芳次郎 東平
機設、蒸、瓦、機圖(普)	田村萬太郎 同	化	中山清吉 千平	物、破	大岡鐵太郎 岐阜平
建圖(初)	竹内林之助 同	規、建材、圖實、破	中山寅太郎 同	寫、實圖	大山映 東平
家構	瀧上勝二郎 群平	化、鏡、物	中里柳次郎 同	規、家構、仕計、破、建圖(初)	大司五男吉 東平
算(普)國(普)破	大導寺健次郎 東平	家構、建材、物、破	永田國三郎 同	機作	大河内三吉 靜平
規、家構、建圖(初)	高田錄太郎 同	算(初)家構、仕計、建 材、破	内藤太平 新平	代(初)	大山正義 東平
規	田子定吉 福島平	機作、機設、機材、蒸、幾、 代(普)物、工計	中山德市 佐平	工計	大友毅郎 宮城平
算(普)鏡	染井金吉 千平	家構、仕計、破	中山計雄 長野平	瓦	久保田七之助 東平
規	土屋清助 東平	算(初)	中田正治 茨平	規、家構、物、建圖(初)	熊谷清太郎 長野平
算(普)鏡	塚越長吉 茨平	寫	行方傳藏 三平	機作	熊田三治 宮城平
規	鶴見音次 長野平	寫	名如鶴松 東平	染	久野春之助 神平
算(普)規、家構、仕計、建 材、幾、物、國(普)建圖(普)	辻兼松 岐阜平	寫	村上貞太郎 同	算(普)家構、仕計、自、幾、 國(普)	國井幸次郎 東平
算(初)家構、仕計、自、國 (初)建圖(初)破	津村安五郎 福島平	寫	向津正一 北平	算(普)圖	黒田秀三郎 同
機圖(普)機作、算(普)機 材、蒸、幾、代(初)物、機 瓦、工計	津川嘉三郎 東平	算(普)規、仕計、建圖(普)	上島美代松 富平	規	山田由太郎 同

機作、算(普)機設、機材、 機圖(初)物、工計、瓦、機	山時衛 東士	機作、機設、機材、蒸、瓦、機 圖(初)	小林庄太郎 埼玉平	鏡	赤沼盛治 埼玉平
算(普)電、蒸、代、瓦、機圖 (初)	山倉清太郎 同	寫、建圖(初)	小池忠藏 長野平	家構	荒川松義 新平
寫	八幡豐 廣平	家構、國(普)	小諸鐵太郎 新平	鏡	淺野貞賢 東平
規、自	安澤繁治 新平	瓦	後藤榮次 石平	染	佐藤虎次 同
化	山本安次郎 東平	算(初)家構、國(初)	小林宗太郎 同	算(普)家構、仕計、建 材、破	佐藤龜吉 同
算(普)家構、仕計、幾、 代(初)破	矢作喜十郎 同	鏡	後藤憲三 岐阜平	物、作、算(普)機設、蒸、代、 物、工計、瓦、機圖(初)	佐藤孝太郎 福岡平
家構、破	矢部嘉一郎 靜平	算(普)工計	越川克 埼玉平	電、瓦	佐藤萬三郎 宮城平
寫、版	松山留次郎 北平	算(普)機圖(初)	江頭剛 東士	家構、建圖(普)破	佐々木長次郎 岩平
化、染、幾、物、國(普)	松本仙之助 東平	機作、算(普)機材、蒸、瓦、 機圖(普)	寺澤龜吉 千平	規、家構、建圖(普)建	佐野藤太郎 福岡平
電、代、工計、瓦、機圖(普)	丸岡武一郎 石平	算(普)工計	傳田彌平 東平	圖(普)破	齋藤柳 東士
鏡、幾、物	馬來欽虎 山口	物、機圖(初)	天正孝三郎 群平	規	齋藤東太 山形
算(普)機設、機材、蒸	前田千代吉 靜平	算(普)規、家構、仕計、建 材、自、幾、破、建圖(普)	荒木喜藏 京平	瓦	財津義秀 東士
機作、機設、機材、蒸、物	前澤邦司 長野平	寫、圖、版(網)	荒木吉之助 東平	建圖(普)	坂井吉太郎 福島平
建圖(初)	榊田喜一郎 廣平	算(普)家構、幾、建圖(普)	荒井貞藏 栃平	機作、破	坂井豐次 靜平
寫、圖實、版	古山嘉四郎 滋平	破	淺沼久彌太 長野平	規、建圖	佐渡谷佐介 新平
機作、瓦	古箭忠太 長野平	機作、算(普)機設、機材、 蒸、幾、物、工計、機圖(初)	青木鐵藏 埼玉平	寫、版	坂爪虎吉 東平
寫	福本源太郎 東平	規、自、建圖(普)破	青山米吉 岐阜平	算(初)	齋藤菊三郎 東士
	小林勝太郎 同	瓦	阿久津善太郎 東平	寫、版	櫻井保 群平
	小林仙太郎 同	化、染	明石義雄 同	規	菊地長太郎 東平
			厚木勉 秋士		菊川米吉 東士

卒業、修業、修了者

化、寫、染、圖、物	木村平寬	山杉	算(初)、家構、自、建圖	柴崎新吉	同	菅野重作	福島
瓦	木村正	新平	寫	七條憲三	東平	鈴木鐵藏	靜平
化、鍍、圖、物	木下崇	長野	機作、破、算(普)物	柴田竹次郎	新平	鈴木源三	山島
化	北澤祇二郎	同	算(普)	島田兼吉	東平	西村宗一	山口
算(普)機材、幾	甲子寅八	東平	機作	江田三郎	同	植竹力次郎	茨平
寫	弓家七郎	茨平	機作、電、鍍、幾、物、工計、機圖(初)	森川德三郎	廣平	木村善次郎	東平
任計、建材	宮崎豐	佐平	算(普)、染	茂木市藏	東平	河地安太郎	愛知
建材	宮田定吉	東平	機作、機設、機材、蒸、代	森瀨清一郎	岐平	時田末雄	東平
圖實	宮島作市	長野	國(普)	木橋道太郎	東平	岡本三平	埼玉
瓦	宮內春次郎	愛媛	寫	諸岡巖	茨平	松本米吉	東平
電	三平富治	同	建材	關原勝三郎	神平	關澄泰夫	東平
建材、圖實、建圖(普)	三本秀吉	山形	家構	瀬戸新太郎	東平	増田平吉	同
化、染	島村重太郎	群平	算(普)、鍍	關藤市	千平	御子神爲四郎	同
機作、算(普)機設、幾、物、瓦、機圖(普)	島田比之助	埼玉	規、家構、任計、建材、自、建圖(初)	鈴木盛之助	東平	久保文次郎	同
化、染	柴田壽治	茨平	代(普)、家構、建圖(初)	鈴木權藏	新平	赤尾助	東平
機作、機設、機材、蒸、機圖(初)	瀧川義男	新平	算(普)、家構、任計、建材、算(初)物、建圖(初)	鈴木木次郎	同	入江德策	同
家構、破、自	鹽田常次郎	福島	規	鈴木長次郎	同	島場與五郎	茨平
	清水榮一郎	東平	天	鈴木猛	同	小池忠藏	長野
	芝山勝藏	同	規	杉山富次郎	同	佐々木長次郎	岩平
	篠崎徳造	神平	規、建材	末吉金太郎	同	永田國三郎	東平

明治四十年七月修了(二十四名)

破	野出剛	福岡	自、規、機、建圖(普)、建圖	戸井清太郎	東平	近藤藤一	新平
電、蒸	松村外太郎	東平	自、規、機、建圖(初)、國(普)、規、建圖	筑網和勝	山口	三谷氏郎	香平
電、工計	荒木喜藏	京平	自、規、機、建圖(普)、建圖	笠田久太郎	東平	平井吉藏	埼玉
建圖(初)	大岡鐵太郎	岐平	建材、算(普)、任計、破、機圖	天正孝三郎	群平	鈴木權藏	新平
代(普)	前田熊吉	鹿平	物、代(初)、瓦、化、幾、自	宮澤三次郎	長野	池上音吉	兵平
破、物	西池泰氏	埼玉	物、代(初)、瓦、化、幾、自	伊藤孫七	愛知	池上音吉	兵平
瓦	宮下庄太郎	東平	自、規、機、建圖(初)、化、衛、建	服部菊治	長野	池上音吉	兵平
機設	菅野重作	福島	破、建圖(普)、任計、破、衛	原佐重	山梨	大久保由之助	千平
破、任計	小諸鐵太郎	新平	破、建圖(普)、任計、破、衛	藤井吉之介	東平	小川政市	新平
建圖(初)算(普)破、建材	安澤繁治	同	破、建圖(普)、任計、破、衛	今野傳吉	山形	梶原源次	鹿士
任計	塚越長吉	茨平	破、建圖(普)、任計、破、衛	井上儀重郎	群平	福田由次郎	東平
染	横山周次郎	新平	破、建圖(普)、任計、破、衛	長谷川喜作	新平	小諸鐵太郎	新平
同	北澤祇二郎	長野	破、建圖(普)、任計、破、衛	星操	福島	佐藤豊治	山形
任計	中山長五郎	千平	破、建圖(普)、任計、破、衛	大谷周助	福島	木村謙太郎	東平
任計	石川佐太郎	東平	破、建圖(普)、任計、破、衛	加々美晴造	山梨	廣瀬徳太郎	北平
任計	星操	福島	破、建圖(普)、任計、破、衛	田中三策	山梨	岩井福之助	福島
鍍	矢部嘉一郎	靜平	破、建圖(普)、任計、破、衛	山倉清太郎	東平	廣瀬徳太郎	北平
電	矢萩喜八郎	山形	破、建圖(普)、任計、破、衛			小川萬吉	新平
機圖(初)、自	杉山寅吉	茨平	破、建圖(普)、任計、破、衛			萱森彦二郎	千平
物、建材、家構、算(普)任計	飯塚清	東平	破、建圖(普)、任計、破、衛			吉中孫七	石平
破、衛、建材、家構、算(普)任計			破、建圖(普)、任計、破、衛				

卒業、修業、修了者

明治四十一年七月修業(三百五十名)

算(普)、仕計、建圖(普)	横山周次郎	新平	建圖(初)	石川倉之助	崎平	瓦、物、幾、機圖(初)	福岡濱太郎	兵平
幾、材、強	瀧澤直枝	長野	算(普)幾、工計、機圖(初)	五十嵐音松	新平	破、建圖(普)、規、自	深澤道廣	山梨
仕計、家構、算(普)、破、建圖(初)	榎見淺太郎	崎平	破、衛建、建圖(普)、國(普)	生田茂作	全平	破、建圖(初)、規、自	菊地藤太	新平
規、建圖(初)、破、衛建、家構	中西忠兵衛	三平	家構、仕計、破、規	幡野秋造	山梨	破、建圖(初)、規、自	柴田竹治郎	新平
建圖(初)	行方傳藏	三平	算(普)、破、建圖(初)、材強	葦澤政次	新士	仕計、建圖(普)、幾、規	柴崎新吉	神平
家構、仕計、代(初)、破、建圖(普)	植竹由藏	崎平	算(初)、建圖(初)、國(初)	船口庄之進	宮城	瓦、幾、電、機圖(初)	鹽坂廉作	靜平
代(初)、破、衛建、建圖(初)	藤井德治	京平	規、機圖(初)、仕計、建圖	土肥次郎兵衛	東平	代(普)、化、幾、工計	清水富藏	山梨
五、化、工計、機作、機圖	藤田宇八	靜平	家構、算(初)、仕計、建圖	趙良臣	清盛	算(初)、破、規、建圖(初)	百瀬寛司	長野
建圖(初)、衛建、家構、破、算(普)	船山良輔	東平	機圖(初)、物、幾、自	小倉茂三郎	崎平	蒸、化、石香、染	茂本市藏	東平
算(普)	小林重次郎	東平	仕計、破、建圖(初)、規	和田繁平	岐平	破、建圖(初)、規	杉浦庫太郎	靜平
衛建、建圖、材強、破、仕計	江連平吉	茨平	算(普)、化、染、國實	河内與市	新平	破、建圖(初)、規	入江長五郎	東平
家構、代(初)、破、建圖	足土定一	靜平	建圖、家構、破、衛建	金森金吾	宮城	家構、算(普)、建圖(初)	長谷川柳二	福島
(初)規、仕計、建圖、建圖	奇木鐵造	崎平	家構、算(初)建圖(初)、規	鴨下榮吉	愛知	算(普)瓦、幾	花田民藏	福岡
建圖(初)材強、算(普)、仕計、機圖(初)	藤谷庄一郎	宮城	材強、建圖(初)、家構、幾	高津末吉	東平	物、算(普)、機圖(初)	西村辰次郎	東平
機圖(初)機作、算(普)	齋藤柳	東士	物、算(普)、瓦、化	田中生一	山口	建圖、家構、建圖(初)	本間謙太郎	宮城
建圖(初)材強、破、建圖(初)	北澤定八	東平	算(普)、建圖(初)幾、材強	武島十九藏	東平	破、建圖(初)、規	友野直二	東平
算(普)破、衛建、建圖	湯木光次	長野	算(普)幾、工計、機圖(初)	館柳吉	東士	算(普)國(普)、建圖(初)	富川金藏	東平
蒸、瓦、化、工計、染	廣藤秀明	廣平	算(初)仕計、破、建圖(普)	津村安五郎	福島	建圖(普)材強、規	大磯富一郎	新平
物、圖、算(普)材強、機圖	瀨部政助	德平	算(初)仕計、破、建圖(普)	中西順吉	東士	算(初)建圖(初)國(初)	大司五男吉	東平
物、家構、仕計、建圖(普)	菅野重作	福島	幾、算(普)工計、機圖(初)	中島淺太郎	東平	化、工計、石香	川崎萬次郎	岩平
材強	鈴木藤太郎	東平	幾、瓦、化、電	藤田爲吉	滋平	算(普)幾、材強	河端政治	新平
							柏木信次郎	新平

算(普)、瓦、機圖(初)	金子亮太郎	東士	瓦、電、鏡	宮本善次郎	茨平	算(初)破	飯村彌助	福島
破、建圖(普)規	吉田元太郎	東平	算(初)瓦、染	宮澤郡治	長野	破、建圖(初)	伊藤規矩雄	長野
代(初)電、機圖(初)	高橋虎之助	東平	建圖、幾、衛建	箕浦淺太郎	岐平	建圖(初)破	市村由美	茨平
算(初)建圖(初)國(初)	高木善四郎	岩平	機圖(初)瓦、幾	白川正行	東平	版、算(普)	池上久三郎	長野
破、建圖(普)規	高濱直三郎	受知	鏡、電、機圖(初)	澁川繁藏	東平	化、電	池野久雄	東平
仕計、破、衛建	田村勇助	靜平	衛建、幾、破	島袋三郎	沖平	仕計、建圖(普)	畑山子之吉	東平
鏡、瓦、幾	永田靜	東平	破、國(普)自	下村久之助	東平	蒸、瓦	濱畑伊勢松	宮城
瓦、化、染	永井清一郎	東平	規、算(初)建圖(初)	平澤市郎	東平	鏡、機作	友野義一	東平
建圖、算(普)幾	永井龜太郎	東平	鏡、瓦、電	森田嘉助	京平	算(初)國(普)	豐浦彌太郎	大士
革、算(普)染	野津兵太郎	島平	圖、化、染	關口彦藏	新平	化、染	貫井龍吉	東平
破、建圖(普)規	栗原龜榮	東平	自、算(初)國(普)	關澄龍尾	東平	瓦、機圖(初)	大谷義方	島平
破、建圖(初)規	矢部嘉一	靜平	建圖(普)衛建、算(普)	鈴木雅吉	東平	家構、材強	太田浩然	東士
建圖、算(普)建圖(初)	八木下政吉	東平	家構、破、規	鈴木長治郎	東平	家構、建圖(初)	大岡鐵太郎	岐平
算(普)國(普)破	松本梅右衛門	神平	蒸、圖、材強	鈴木正雄	東平	家構、建圖(初)	金澤欣次	新平
建圖(初)建圖(普)規	小井戸久次郎	東平	瓦、化、機圖(初)	鈴木盛之助	東平	家構、規	狩谷勇之助	茨平
瓦、電、材強	有本龜之助	北平	仕計、破、建圖(初)	鈴木半七	福島	破、建圖(初)	梶原勇松	新平
家構、仕計、化	佐野銀平	岐平	鏡、電	石井秀雄	東平	破、建圖(初)	金子利平	東平
寫、石香、染	齋藤金五郎	東平	建圖(普)規	石垣金藏	東平	機圖(初)算(普)	吉田國一	東士
仕計、破、建圖(初)	菊地幸太郎	茨平	寫、電	岩重常次郎	鹿平	破、建圖(普)	吉田喜代次	福島
石香、染、機圖(初)	木村春松	群士	圖、斷實	岩田大三郎	福井	寫、版	田中鏡	靜士
圖、版、化	溝口盛一	鹿士	算(初)機圖(初)	猪野彌吉	東平	寫、版	田尻德太郎	東平

卒業、修業、修了者

機圖(初)、染	高橋金次郎	山口	機圖(普)、材強	傳田彌平	東平	寫	池田豐吉	東平
機圖(初)、算(普)	高瀬榮吉	東士	圖、版	足立民次郎	鳥士	建圖(初)	磯知宗太郎	茨平
機圖(初)、算(普)	竹野熊五郎	埼玉	圖、圖實	淺香誠之輔	東平	規	磯部榮太郎	愛知
瓦、電	土屋高次郎	靜平	機圖(初)電	秋山源四郎	茨平	寫	犬塚力	千士
破、規	中山寅太郎	東平	破、建圖(初)	坂井常三郎	栃平	機圖(初)	井筒稻八	東平
破、自	中村政千代	長野	機圖(初)、機圖(普)	佐久間盛治	山形	革	井上仁吉	東平
代(初)、化	鶴川新作	東平	寫、機圖(初)	齋藤菊三郎	東士	染	石田吟次郎	長野
材強、染	植原源吉	兵平	建圖(初)、破	齋藤清作	茨平	版	五十嵐文雄	東平
瓦、機圖(初)	久保田庄平	新平	建材、算(初)	酒井啓造	東平	破	飯島清太郎	東平
寫、化	久保田七之助	東平	瓦、化	菊田道男	群士	破	岩田豐三郎	東平
機圖(初)、工計	工藤由太郎	青平	破、衛建	北原太郎吉	東平	革	石垣英造	東平
染、石香	山下光雄	東士	機圖(普)、材強	清水榮一郎	東平	建圖(初)	伴野喜代太郎	長野
染、石香	山崎豐之助	岐平	鏡、國(普)	城谷三郎	東平	染	馬場典五郎	茨士
衛建、建圖(初)	山下忠一	靜平	建圖(初)、國(初)	平澤次郎	東平	革	長谷川越郎	新平
仕計、算(普)	山本千太郎	神平	工計、算(普)	望月壯吉	靜平	材強、	林繁藏	東平
寫、石香	松島保次	千平	自、衛建	關口辰治	新平	染	羽生梅吉	東平
瓦、機圖(初)	藤川又四郎	東平	工計、瓦	須藤兼吉	東平	建圖(初)	新出勝三郎	東平
鏡、機圖(初)	小林金藏	新平	機圖(初)	石井德三郎	東平	瓦	本多英一	東平
建圖(普)、破	小林三次郎	茨平	家構	石津芳三郎	東平	材強	保坂松五郎	東平
建圖(普)、破	小玉文治	山形	瓦	岩崎鐵之助	東平	革	堀井留藏	東平
仕計、衛建	小松操	東平	建圖(普)	伊藤源太郎	新平	染	細野清豪	愛知

染	細山田	豐	鹿士	瓦	大村柳太郎	東平	染	大小原真次郎	群平
染	北條	巖	岩士	版	若松安次郎	東平	瓦	竹内正司	東平
寫	富田義男	福島	寫	川上清	三士	電	成田袞三郎	宮城	
寫	所秀實	愛知	電	川勝政五郎	東平	鏡	中林龜太郎	富平	
機圖(初)	時田傳作	東平	瓦	神取治朗	東平	材強	中村富三郎	東平	
家構	大橋佐平	東平	建圖(普)	榊澤市太郎	新平	染	長島正至	靜士	
材強	大川六雄	東平	材強	片桐與造	新平	機圖(初)	村田宗太郎	東平	
染	岡田彌作	新平	化	柿沼勇治	埼玉	染	上野武衛	新平	
機圖(初)	岡	東士	染	金子彦兵衛	東平	國(普)	浮部寅次郎	東平	
電	大鹽芳雄	靜平	染	河内海	鹿平	染	野村重一	山口	
機圖(初)	大隈克左右	東平	版	川崎友次郎	東平	染	桑島貞作	埼玉	
機圖(初)	岡田晃	千平	版	川村一男	宮城	瓦	矢部圓次	福島	
寫	小倉佐四郎	福島	版	片野鉦太郎	東士	染	山田清介	秋平	
材強	小野美倍	長野	機圖(初)	吉川大德	神平	算(初)	山田源藏	千平	
機圖(普)	尾塔工	岡平	破	吉田典三七	東平	染	山田健三郎	宮城	
建圖(普)	折原堅守	埼玉	家構	高梨松次郎	東平	建材	矢作喜十郎	東平	
機圖(初)	大竹善兵衛	福島	染	丹下字良吉	埼玉	規	柳田吉五郎	東平	
染	王氣	清國	染	高橋廣	福井	建圖(普)	松澤渡	埼玉	
染	小川圓次郎	埼玉	染	高頭徹六郎	新平	算(普)	增田辰雄	東平	
破	岡部小八郎	東平	染	田中彌三郎	激平	家構	町田力三郎	靜平	
鏡	小田關太郎	愛知	染	竹内辰之助	東平	版	前田近三郎	埼玉	

卒業、修業、修了者



卒業、修業、修了者本籍地方別表

受知縣	卒業、修業、修了者本籍地方別表										計								
	三重縣	奈良縣	栃木縣	茨城縣	千葉縣	群馬縣	埼玉縣	新潟縣	長崎縣	兵庫縣		神奈川縣	大阪府	京都府	東海府	北海道			
一	二	一	二	四	一	四	一	二	一	三	一	二	三	五	一				
一九	九	九	五	三	二	四	七	二	一〇	二七	七	五	三	五	五				
一	一	一	六	三	四	二	六	一	一	三	一	一	一	一	一				
二	二	一	五	三	二	四	八	二	一〇	三三	七	六	五	五	五				
和歌山縣	山口縣	廣島縣	岡山縣	島根縣	鳥取縣	富山縣	石川縣	福井縣	秋田縣	山形縣	青森縣	岩手縣	福島縣	宮城縣	長野縣	岐阜縣	滋賀縣	山梨縣	靜岡縣
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
四	八	六	三	四	三	一〇	六	七	五	二七	四	一五	四四	二二	四二	一七	三	一	三五
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五	九	六	四	六	三	一	六	七	五	二九	四	一七	四九	二四	四六	一八	四	一	三九

卒業、修業、修了者本籍地方別表

(明治四十一年十一月一日調)

破	染	石香	機圖(初)	機作	建圖(普)	機圖(初)	化	染	機圖(初)	染	染	瓦	染	革	電	染	電	建材	電	建材	
松岡登一郎	許之翰	小山貞一郎	小泉喜三郎	小寺一男	小柳清吉	兒島茂一郎	小暮新平	小澤長吉	小峰要吉	腰川貞次郎	牛場義男	近藤二郎	遠藤鶴二	遠藤兵五郎	安藝貞雄	安藤金逸	荒木他二郎	秋元德太郎	秋元峰造	相築敬二郎	
山梨	清國	島士	東平	大阪	新平	東平	東平	埼玉	茨平	東平	新平	新平	東平	東平	東平	東平	東平	東平	東平	京平	
版	瓦	家構	材強	任計	材強	機圖(初)	寫	染	算(初)	版	破	瓦	建圖(初)	電	材強	規	算(普)	瓦	瓦	染	
相原恒久	新井滿雄	酒井太助	佐野金一郎	佐藤龜吉	佐藤幸太郎	佐藤喜一	佐藤尚一	齋藤學三	坂田正太郎	財津義秀	木村直次	北島岩五郎	宮崎甚平	宮本儀助	柴田壽治	白鳥吉平	島田兼吉	白井守一	島田辰雄	平山宗治	
神平	群平	千平	靜平	東平	福島	福島	東平	埼玉	東平	東平	東平	東平	東平	東平	茨平	宮城	東平	東平	東平	千平	
版	家構	材強	染	電	寫	染	化	瓦	算(初)	染	染	染	染	染	染	染	染	染	染	染	
入見治三郎	門馬庄藏	關原勝三郎	妹尾周平	鈴木門二郎	鈴木重雄	鈴木金藏	鈴木德太郎	鈴木林太郎	鈴木金次郎	須藤邦二	須山惣之助	杉崎直次									
大阪	福島	新平	兵平	靜平	宮城	東平	東平	東平	東平	東平	神平	埼玉									

覽中ニモ報告シ置キタル所ナルガ本年ニ至リテモ更ニ益々増加ノ勢ヲ示セリ試ニ三十七年以來ノ統計ヲ示サンニ

年	開講科目數	第一學期入學志願者	同上許可者	第二學期入學許可者	合計
自明治三十七年	十七科目	二九六	二九六	一五三	四四九
自明治三十八年	廿二科目	四二七	三五五	二四五	五九六
自明治三十九年	三十科目	六四〇	三八二	三二四	七〇六
自明治四十年	三十科目	六七五	四九三	三一	八〇四
自明治四十一年	三十科目	七一六	五四八		
自明治四十二年	三十科目				

一生徒修學ノ狀況一變

追年生徒ノ數ヲ増加シ來ルコトハ前表ニ示スガ如クナルガ之レト同時ニ各學科目ニ志望シ來ル生徒モ漸次ニ好良トナリソノ聽講ニ熱心ナル度合モ餘程深クナリタルモノ、如シ之レ生徒中ノ多數ハ前年度若シクハ數年來引續キ聽講セルモノニシテ從テ學校ノ事情ニ慣レ當初ヨリ自己ニ適當シタル專門學科ヲ撰擇

德島縣	香川縣	愛媛縣	高知縣	福岡縣	大分縣	佐賀縣	熊本縣	宮崎縣	鹿兒島縣	沖繩縣	清國	計
二	四	二	三	一四	四	六	一	一	一〇	一	三	一、三一五
二	四	一	三	二	四	一	一	一	一	一	三	一、一七六
二	四	一	三	二	四	一	一	一	一〇	一	三	一、一七六
二	四	一	三	二	四	一	一	一	一〇	一	三	一、一七六

附屬工業補習學校主任報告

本校一覽ヲ印刷スルニ方リ本校ノ現況ニ就キ少シク報告スル所アラントス

一入學者ノ増加

入學者ノ累年増加スル狀況ニ就キテハ既ニ前年ノ一

シタルト亦一ツハ近來電車ノ便開ケテ以來特殊ノ生徒ヲ弘ク收容シ得ル事實ノ結果ニ基ツクモノ多キニ依ルナランガ亦一面ニハ從來屢々有リ觸レタル物好ニ學科ヲ撰ブガ如キ輩漸ク減シ必要ヲ自覺シテ來リ學ブノ徒益々多キヲ加ヘタル結果ナルコトハソノ中途廢學者ノ追年減退セルトソノ聽講ニ熱心ナル度合ノ益々増加シタル事實ニヨリテ證セラレタリ之ヲ三十六七年頃ノ統計ニ見ルニ千住、王子新宿及埼玉縣大宮附近ヨリ通學セルモノハ頗ル少數ニシテ特殊ノ生徒ニ限ラレタルガ如キ觀アルモ本年度ニ於テハ大宮ヨリ通學セル生徒ノミニテモ十七名ノ多キニ達セリ之等ハ何レモ往復約三時間以上ヲ要スル遠距離ニ屬スルモノニシテソノ熱心ニハ感服ノ價アルモノト言ハザルベカラズ今東京市内各區及郡部ニツキ通學生ノ數ヲ示サンニ左ノ如シ

市	内										市外	他縣	計			
	淺草區	本所區	下谷區	神田區	日本橋區	京橋區	小石川區	麹町區	芝區	本郷區				牛込區	深川區	赤坂區
明治卅六年	一〇二	八五	五三	五五	六〇	四〇	一七	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	二
明治四十一年	九〇	五二	五六	六四	二二	三四	一六	一一	二六	一六	二〇	七	五	三	三	二〇

(備考) 本表ハ比較ニ便ナラシメタメ生徒五百人ニ付調査シタルモノナリ

附屬工業補習學校主任報告

### 教官ノ同情ト工場主ノ獎勵

本校ノ生徒ガ漸次ニ其數ヲ増シシカモ特殊ノ生徒ニ乏カラズ修學ノ狀況ニ喜ブベキ現象ヲ見ルニ至リシハ一面ニ社會ノ趨勢ノ然ラシムル處アラシモ他面ニ於テ教官ハ大ニ同情ヲ寄セ熱心ナル教育コトニソノ彼等ノ業務ニ適切ナル教授ノ結果ニ依ルモノ多キヲ疑ハザルト同時ニ同情アル世ノ實業家ガ本校生徒ノ爲メニ與ヘラル、適當ノ獎勵ハ特ニ有力タルコトヲ信ズ

近來本校教育ノ趣旨ヲ贊スル工場主等ガソノ部下ノ工人ヲ獎勵シテ通學ノ便宜ヲ與フルモノ漸ク増加シ來レリタトヘバ帝國鐵道廳大宮工場在勤ノモノニシテ無賃乗車券ヲ下附サル、モノ十三名ニ達セルカ如キ又砲兵工廠ノ工場ニ働ク工人ハ特ニ早退ヲ許可セラル、カ如キ是等ノ類例ハ又私立工場ニモ乏シカラス之ヲ要スルニ教官ノ同情ト外部ヨリノ獎勵ハ本校教育ノ趣旨ヲ貫徹スル上ニ於テ有力ナルモノニシテ特ニ本校ノ感謝ス

### ルトコロナリ

#### 一 生徒ノ職業年齢及學力程度

生徒ノ職業ニ於テハ之ヲ數年以前ニ比シテ殆ント變化ヲ見ズタゞ生徒ノ學力ニ於テハ之ヲ數年以前ニ比シ漸次ニ良好ニ赴クモノ、如シ之レ生徒ノ多數ガ前年度ノ通學生ニシテ普通學ヲ修メタルモノ多キト一般普通教育普及ノ結果ニヨルモノナルベシ

生徒年齢ハ例ニヨリテ著シキ等差ヲ免レズ今之ヲ表ニヨリテ示セバ左ノ如シ

卅六年(二〇九人中)	五	二〇	一一七	六七	二三、〇〇
四十二年(五三六人中)	六	五六	三二二	一五三	二二、一一
	以四十歲上	以三十歲上	以二十歲上	以二十歲下	年平均
	以四十歲下	以三十歲下	以二十歲下	年齡均	

#### 一 教科目ノ異同及教室ノ増加

教科目ハ之ヲ前年ニ比シ大ナル變動ナシタゞ二三ノ改廢セルモノヲ舉グレバ左ノ如シ  
本學年ヨリ新ニ開講セル學科

#### 土曜日ノ休講

從來本校ノ授業ハ每週六夜ナリシガ本年四月ヨリ改メテ五夜トシ土曜日ハ休講スルコト、セリ之レ主トシテ經費節約ノ便宜ヲ思ハザルニアラザルモ一面生徒ノ實況ヲ見レバ何レモ晝間職業ニ従事スルモノナレバ之ニ向テ適當ノ休日ヲ與フルハ寧ロ必要ノコトナルノミラズ亦之ニ筆記ノ整頓復習等ニ適當ノ餘裕時間ヲ與フルノ必要ヲ認メタル結果ニ出デタルモノナリ元ヨリソノ利害得失ハ今急ニ判斷スベカラズト云ヘドモ思フニ學力不齊ニシテ晝間職業ヲ有スル補習生徒ニハ可成登校ノ時間ヲ短クシテ之ヲ補フニ自習ヲ以テシ適當ノ問題ヲ與ヘテ自ラ考案解釋セシムルノ方法ヲ採用スルハ或ハ補習教育ヲシテ更ニ有効ナラシムルノ一法ナランカ

#### 入學者ノ志望科目

本年度入學者ノ志望科目ハ例年ニ比シテ著シキ變動ナ

#### 一、實用機械學、工業用材料及試驗法、測量法、西洋家具

##### 洋家具

同開講ヲ見合セタルモノ

##### 一、石鹼並ニ香料

同合併シタルモノ

##### 一、電車ヲ電氣應用一斑ノ内ニ

##### 一、寫眞法ヲ製版ノ内ニ

##### 一、材料ヲ實用機械學ノ内ニ

本學年ニ於テ増加シタル教室ハ都合ニケ處ニシテ一ツハ三階製圖室他ハ母校化學教室ナリ  
コハ建築製圖志願者ガ本年ニ至リテ著シク増加シ從來ノ二教室ニテハ之ヲ收容シ得ラザル結果更ニ一教室ヲ要スルニ至リシト亦一般志願者ノ増加ニ伴ヒ教室ノ狹隘ヲ告ゲタルニヨルモノトス之ニヨリテ本校ハ母校校舍本館中三階ニ於テ三教室階下ニ於テ五教室ヲ有シ優ニ六百名ノ生徒ヲ收容シ得ルニ至レリ

キモノ、如シ尤モ入學ノ當初特ニ制限ヲ嚴シクシ初メヨリ自ラ適スル處ノ主要學科ヲ撰ミ半途聽講ヲ中止スルカ如キ輩ノ少ナカラシムコトヲ期セリタ、茲ニ一言ノ要アルモノハ建築仕様計算、建築製圖、家屋構造、規矩法ノ如キ大工職ニ關係アル學科ハ何レモ百名以上ノ志願者ヲ有シコトニ建築製圖ノ如キハ二百四十七名ノ多キニ達セリ蓋シ之レ市内ニ同職ニ從事セルモノ多キガ故ナランモ實ハ之レ從來之等ノ職工ガ動モスレバ學理ヲ重要視セザリシ傾向アリシニカ、ハラズ近來建築ノ様式モ多少ノ變化ヲ來シ材料ノ適用モ古今相同シカラズ製圖ヲ讀ミ材料ニ對スル適切ノ智識ヲ有スルニアラザレバ漸ク世ニ歡迎セラレザルノ事實ヲ自覺シ來リタル結果ナルヲ思ハ、同科ニ來リ學ブモノ益々多キヲ加フルハ本校ノ喜ブ處ナリ

今本年入學者ノ志望科目ヲ示セバ左ノ如シ

教科目	人員	教科目	人員
修身	八九	電氣	五九

算術	二三五	機械製作法	七二
國語	七四	實用機械學	七九
實用幾何	九五	機械製圖	一七八
代數	六三	建築用材料	一〇二
物理	八二	家屋構造	一四〇
化學	六八	規矩法	一三八
瓦斯エンジン	四〇	建築製圖	二四七
寫真製版	六八	仕用計算	一三二
圖案實習	三二	圖案法	四二

### 工業講話會

本校ハ毎月十五日ニ於テ工業講話會ヲ開催シ朝野ノ名士並ニ東京高等工業學校教官ヲ聘シ一般工業ニ關スル事項ト工人ノ修養ニ資スル事項トノ講演ヲナシ來リ本年十一月ニ至リ回ヲ重ヌルコト四十四回ニ達シ毎回聽講者堂ニ溢ル、ノ盛況ヲ呈セリ

該講話會ハ本校ガ本校教育以外ニ實行シツ、アル事業ノ一ニシテ本校生徒ハ勿論諸工場ノ職工等モ無料聽講ヲ許シ實物幻燈ヲ使用シ興味ノ中ニ工業上ノ智識ヲ上

進シ娛樂ノ間ニ品性ノ修養ヲ期スルニ在リテ聽講者ノ利益ハ固ヨリ寄席等ト同日ノ談ニアラス

昨年十一月以降同講話會ニ出席ノ聽講者ハ前後三千有餘名ノ多キニ達セリ今講師ノ氏名及演題ヲ舉クレハ左ノ如シ

- 第卅六回 (明治四十年十一月十日) 五日午後六時三十分  
東京高等工業學校講師 中島 德藏  
廿世紀的偉人トハ如何ナル人ゾ
- 工業上ヨリ觀タル冷蔵庫  
帝國冷蔵庫株式會社技師長 内村 達次郎
- 第卅七回 (同) 年十二月十日 五日午後六時三十分  
衆議院議員 島田 三郎  
常識ト中庸
- 綿ノ化學的應用 東京高等工業學校教授 大友 幸助
- 第卅八回 (明治四十一年二月十日) 五日午後六時三十分  
工業界ノ元勳(前回ノ續キ)並ニ保險ノ談  
萬歲生命保險株式會社事務取締役 藤村 義苗

### 附屬工業補習學校主任報告

- 家屋ト鐵材 東京高等工業學校教授 前田 松韻
- 第卅九回 (明治四十一年三月十五日) 午後七時  
歐米に於ける工場視察談  
品川白煉瓦製造所技師 武藤 三枝  
言葉遣ひと品格 東京高等工業學校教授 河津 七郎
- 第四十回 (同) 年四月十五日 午後七時  
歐米の職工と日本の職工との比較  
古河溶銅所技師 藤井 鐵也  
大なるものに小さきもの 東京高等工業學校教授 三守 守
- 第四十一回 (同) 年五月十五日 午後七時  
余が見タル米國ノ職工  
因ノ島船渠會社技師 泉 量一
- 慈善事業ヨリ見タル勤勞ノ價值  
集鴨家庭學校主任務省囑托 留岡 幸助
- 第四十二回 (同) 年六月十五日 午後七時  
歐米視察雜感 文部省視學官 針塚長太郎

渡世論 第一高等學校長 農學博士 新渡戸稻造

第四十三回(同十月十五日)

据置貯金ノ必要

天本梅可

シユワツブノ傳

中島德藏

博愛衆ニ及ボス(心學道話)

早川元光

紀念賞品受領者及精勤賞狀

東京高等工業學校創立滿二十五年紀念獎學資金ヨリ生  
ズル利子ノ一部ヲ割キ之ヲ本校生徒ニモ授與スルノ制  
アリテ本年七月修業證書授與ノ際左記ノ五名ニ對シテ  
賞品ヲ授與シタリ之等ノ生徒ハ學業ニ精勵ナルノミナ  
ラズ學術品行共ニ佳良ナルモノナリ

笠田久太郎

藤井吉之助

國井幸太郎

戸井清太郎

内藤太平

精勤賞狀モ之ヲ受領スルモノ追年増加シ昨年ノ七十一  
名ニ對シ本年ハ九十一名ノ多キニ達セリ

一友愛修工會

從來本校卒業者修業者並ニ生徒相集リ題號ノ如キ會  
ヲ組織シ互ニ知識ヲ交換シ兼テ親交ヲ圖ルヲ目的ト  
シ先ヅ其事業トシテ會費ノ一部ヲ以テ圖書雜誌ヲ購  
入閱讀スルコト、ナセシガ目下藏書二百五十餘部ニ  
達セリ又會員ノ有志相圖リテ英語講習會ヲ開催シ每  
週一回本校教官ヲ聘シソノ講習ヲナセリ此他唱歌練  
習ノ便宜ヲ與ヘ時ニ談話會ヲ催シ勉メテ品性修養上  
ノ一機關タラシメンコトヲ期セリ

一教科用書ノ供給

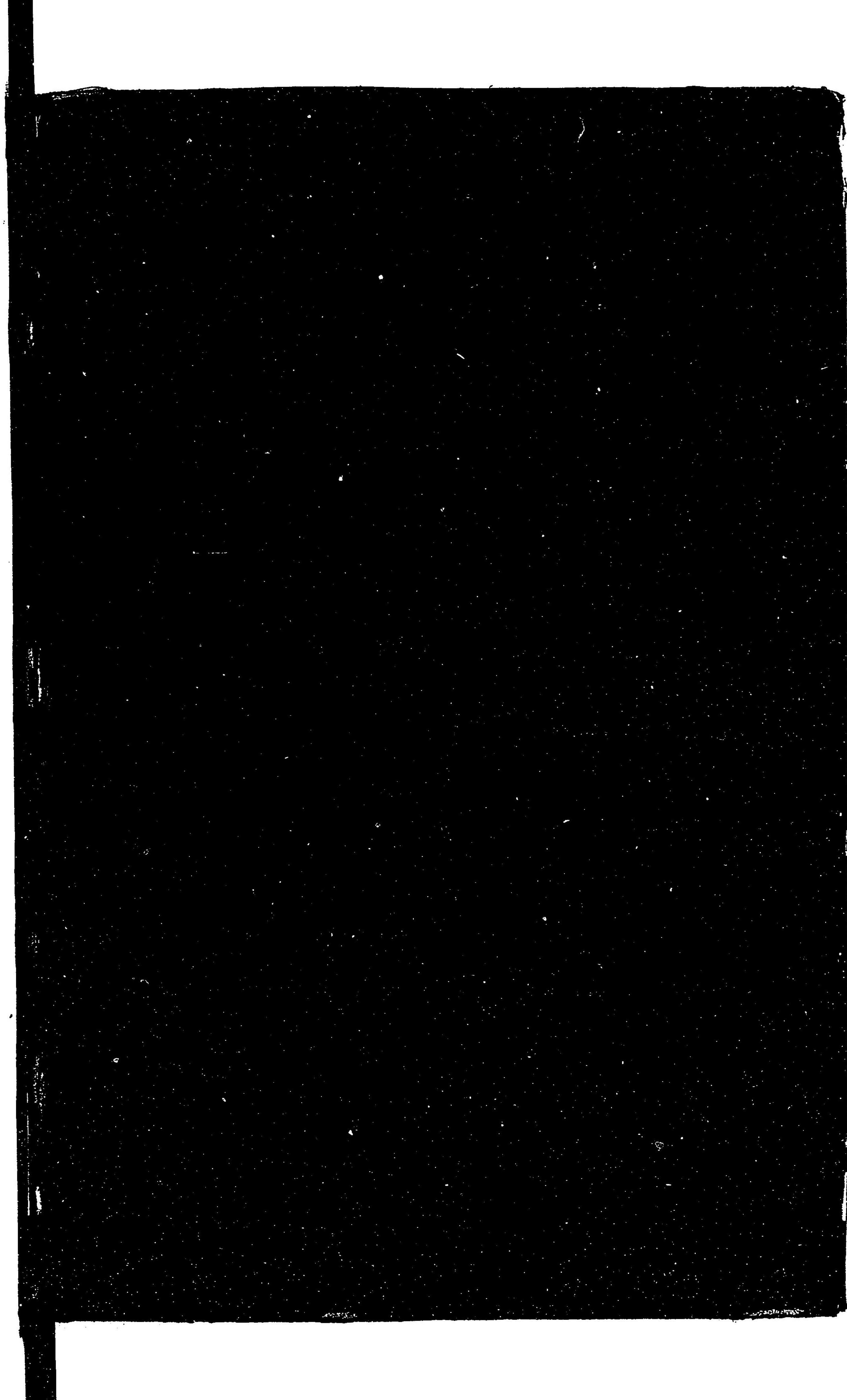
適當ノ教科書ハ補習教育ニ極メテ必要ナルモノニシ  
テ又之レガ適當ノモノヲ得ルハ頗ル難事トスル處ナ  
リ  
幸ニ本校ニ於テハ教官諸氏ノ盡力ニアリ特ニ補習生

徒ノ爲メニ教科書ヲ著シ或ハ謄寫版トシ生徒ハ是等  
ヲ得ルノ便アルニ至リ漸次ニ供給ヲ告ゲタルモノ多  
キハ喜ベキコトナリ今其主ナルモノヲ舉グレバ岡本  
助教授ノ簡易機械製圖法、小室安田兩助教授ノ圖案  
實習ノ手本、河津教授ノ建築仕様計算、田島氏ノ機  
械製作法、河合氏ノ實用機械學等ニシテ何レモ本校  
生徒ニ適切ナルモノナリ尙目下整頓中ニアルモノ多  
ケレバ漸次完成ヲ告グルノ日モ遠カラザルベシ尙本  
校ニ於テハ生徒及一般工人ニ適切ナルスタンダード  
ブック編纂ノ計劃ヲナシ目下ソノ項目ニツキ一通リ  
ノ調査ヲ結了セリ同書ノ期スル處一般工人ノ常識修  
養ニ資シ常ニ座右ノ銘タラシメントスルニアリ本書  
ノ完成ハ尙相當ノ時日ト調査ヲ要スルモ早晚之レガ  
完成ヲ見ルハ本校ノ今ヨリ期スル處ナリ  
凡ソ百般ノ事業一トシテ内部ノ整理ヲ急トセザルモ  
ノナケレドモ教育上内部ノ整頓ハ特ニ刻下ノ急務ナ

ルガ如シシカモ之等ノ動モスレバ等閑ニ附セラル、  
モノ多キハ蓋シ内部ノ整頓ハ人ノ注意ヲ惹カザル事  
項ニ多ク亦之ヲ實行スルニハ細心ノ注意ヲ精勵トヲ  
要スルガ故ナルベシ思フニ學力不同ニシテ晝間職業  
ヲ有スル補習生徒ヲシカモ短日月ニ於テ教育セント  
スルニハ特ニ此間ニ最大ノ注意ヲ拂フノ必要ヲ認ム  
即チ教材ノ撰擇、簡易ニシテ要ヲ得ルノ教授法適當  
ナル教科書ノ編纂、實驗ノ成績發表、適切ナル實驗及  
標本設備等ハ斯教育ノ効果ヲ大ナラシムル上ニ於テ  
尤モ有力ナルヲ信ズ  
幸ニ本校ニ於テハ特ニ母校實驗室ノ一部ヲ開放シソ  
ノ實驗ヲ示シ或ハ日曜日ニ工場實習ニ於テ一部分ノ  
實習ヲ授ケ或ハソノ標本機械ヲ利用シ且ツソノ實驗  
ノ結果ヲ齎ラシテ之ヲ夜間ノ生徒ニ示スガ如キハ本  
校ノ特ニ有スル處ノ長處トスベキカシカモ之等ハ切  
ニ教官ノ同情ト細心ノ注意ニヨラザルベカラザルヲ

思へば本校ハ深ク之等ノ教官ニ向テ感謝セザルヲ得  
ザルナリ

292  
別巻  
6





292  
6

